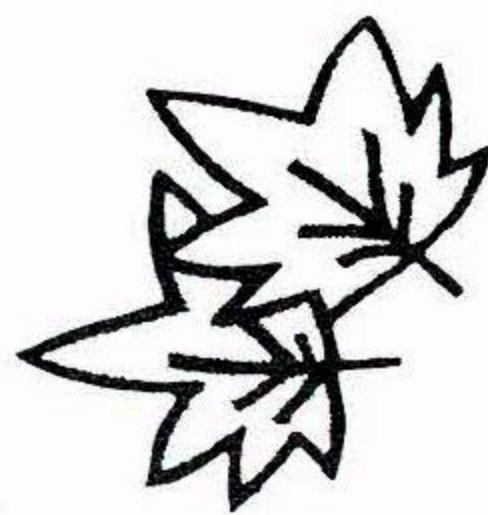


写真資料

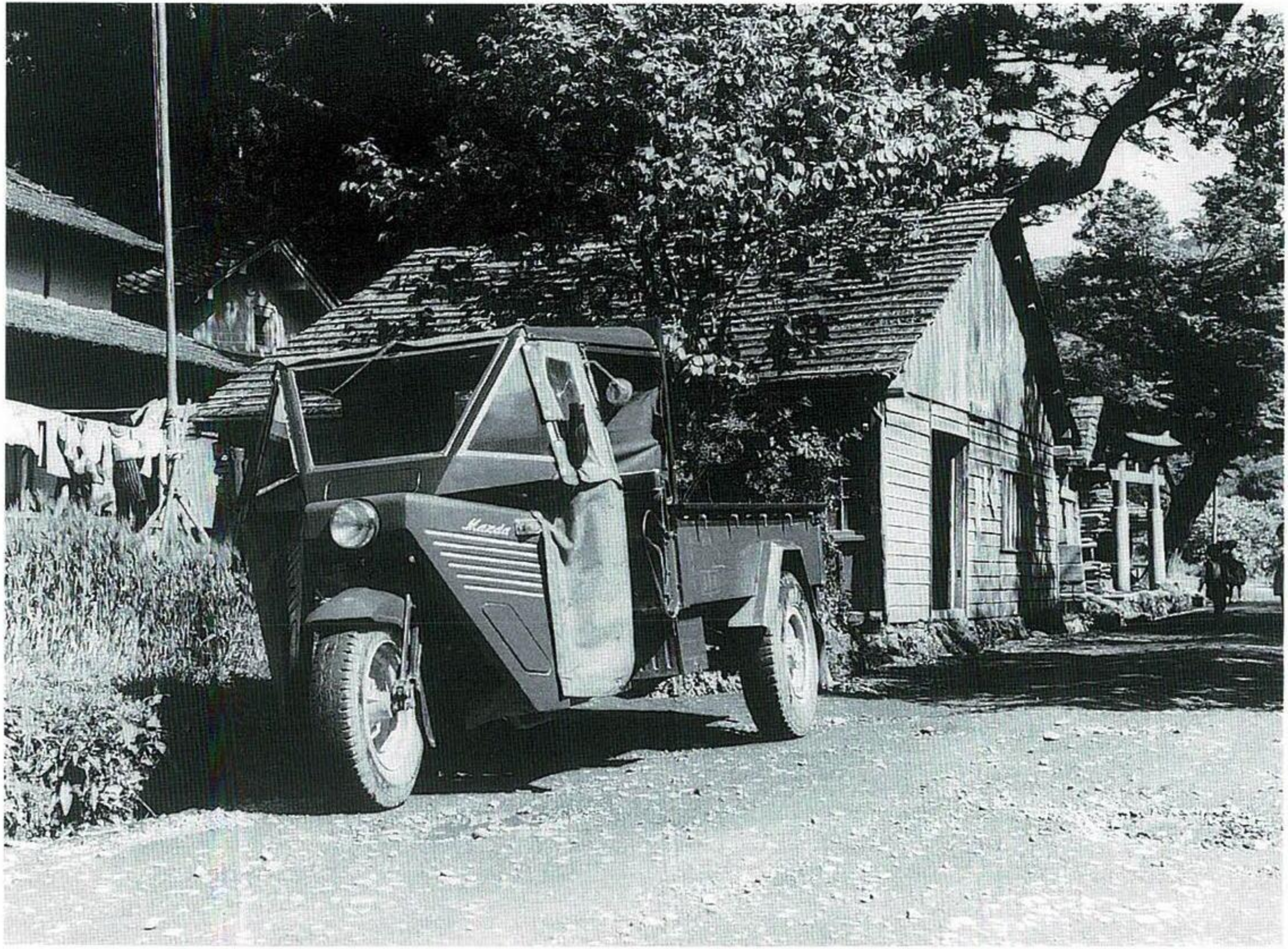




飯見青年団歌舞伎（高下清子氏 提供）



西谷小学校庭にて 相撲巡業（堀 市雄氏 提供）



日見谷荒神社前（尾前友一氏 提供）



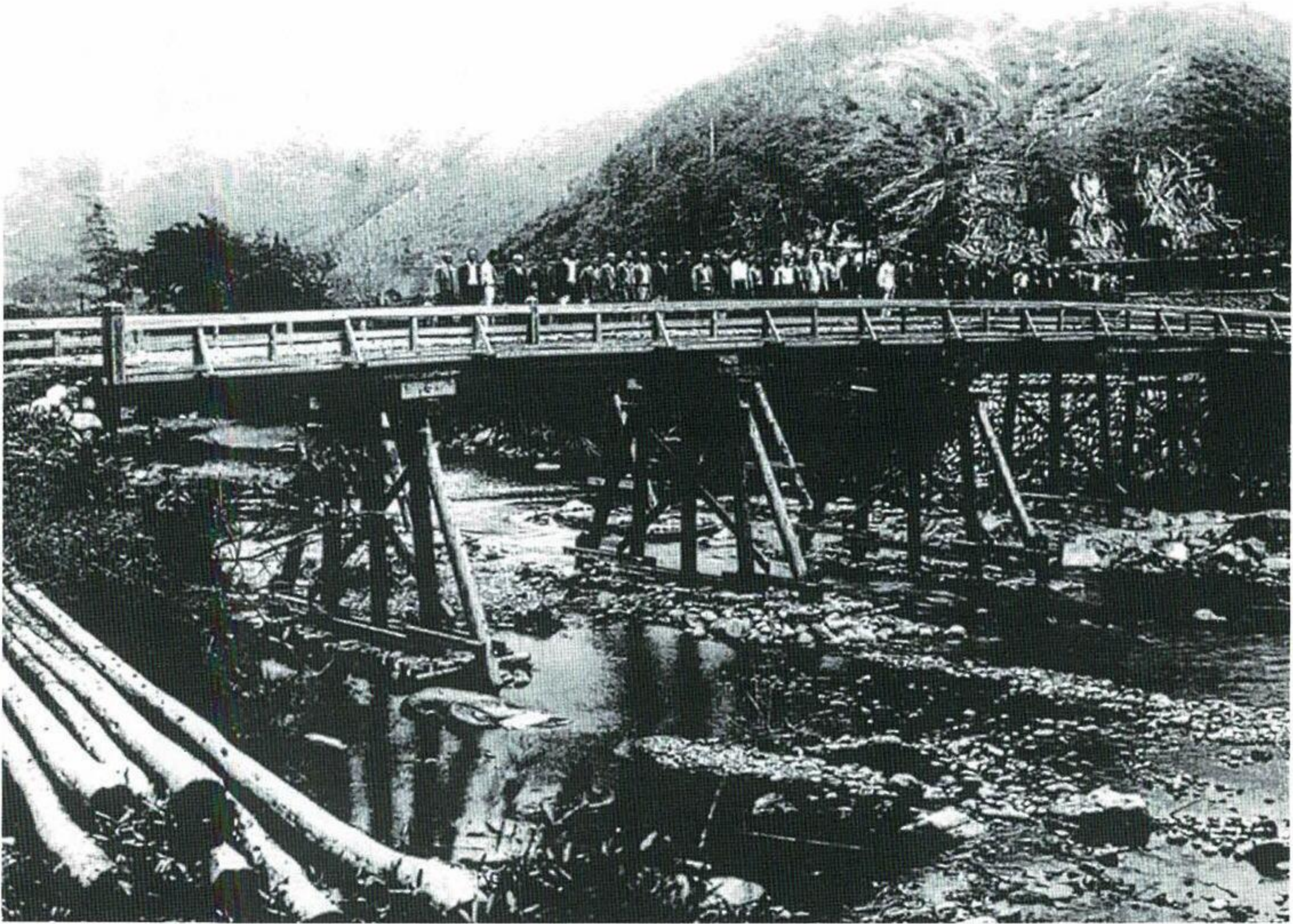
日見谷荒神社前（尾前友一氏 提供）



下校中の子どもたち（尾前友一氏 提供）



谷公会堂の大桜の前で（西田マツヨ氏 提供）



谷 橋



国道29号線建設工事（坂本包子氏 提供）



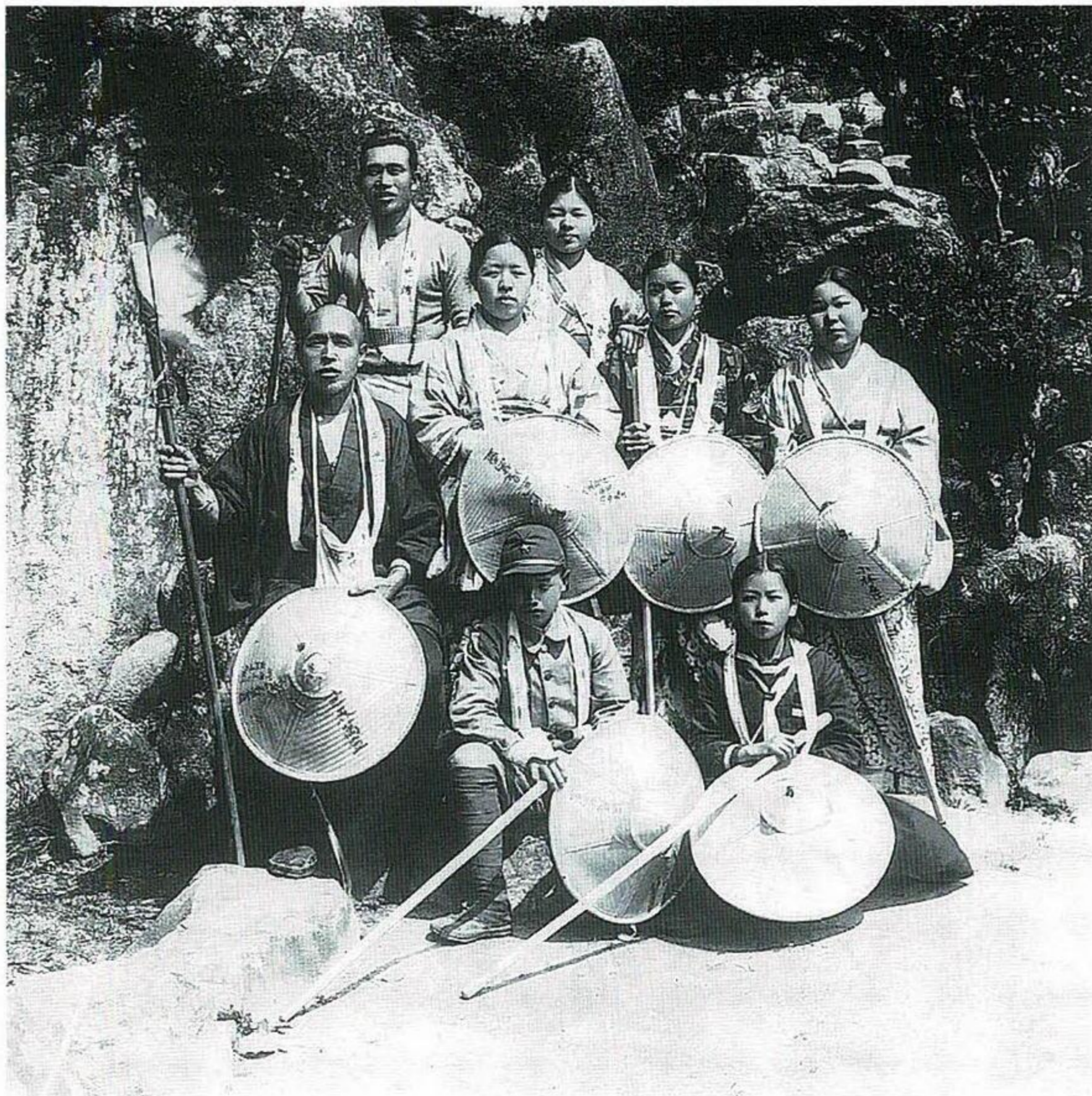
昭和12年頃 上野スキー場（高石敏雄氏 提供）



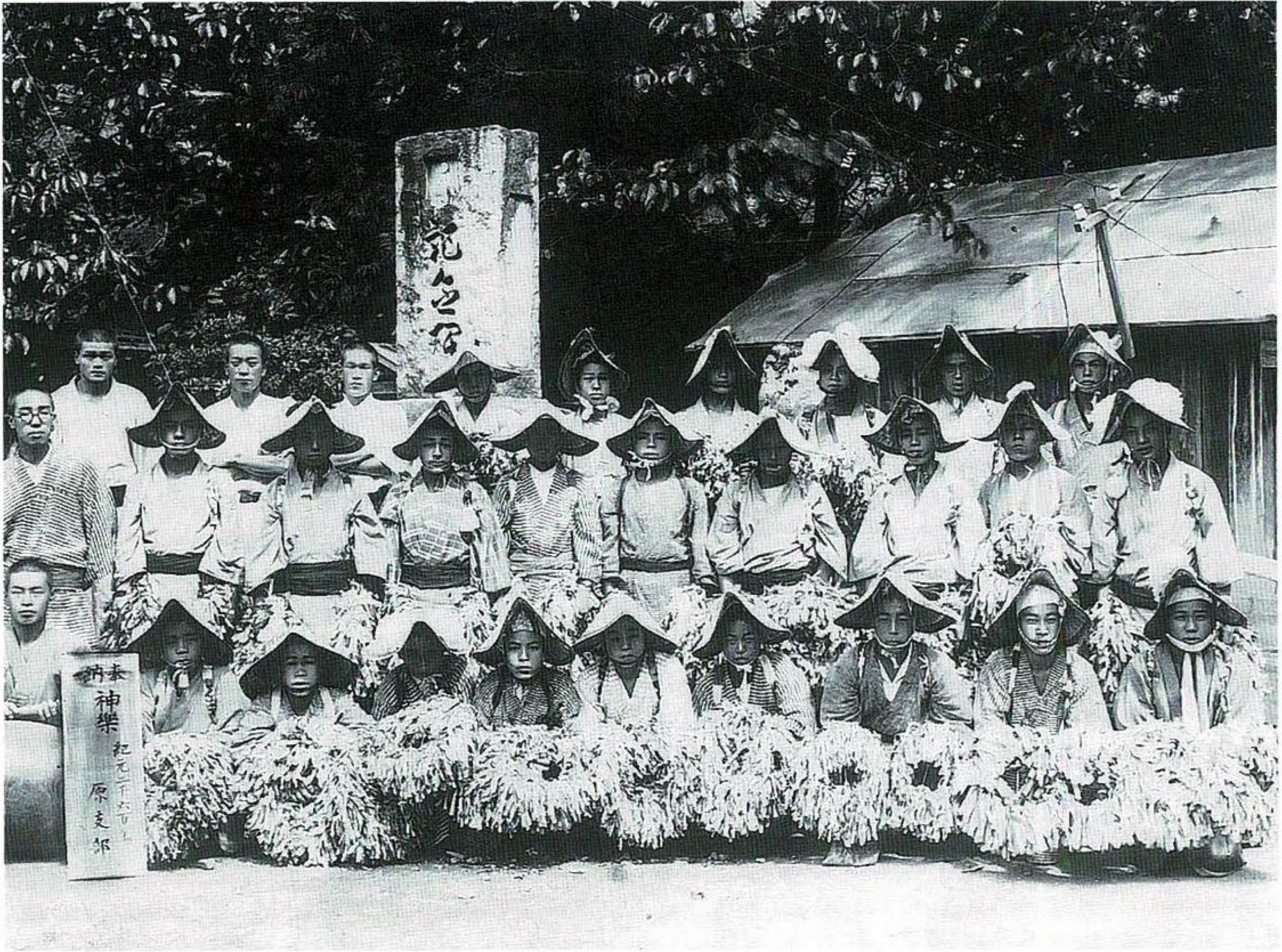
昭和29年2月 上野スキー場（谷尻長次郎氏 提供）



飯見金口にて（大柿僚部氏 提供）



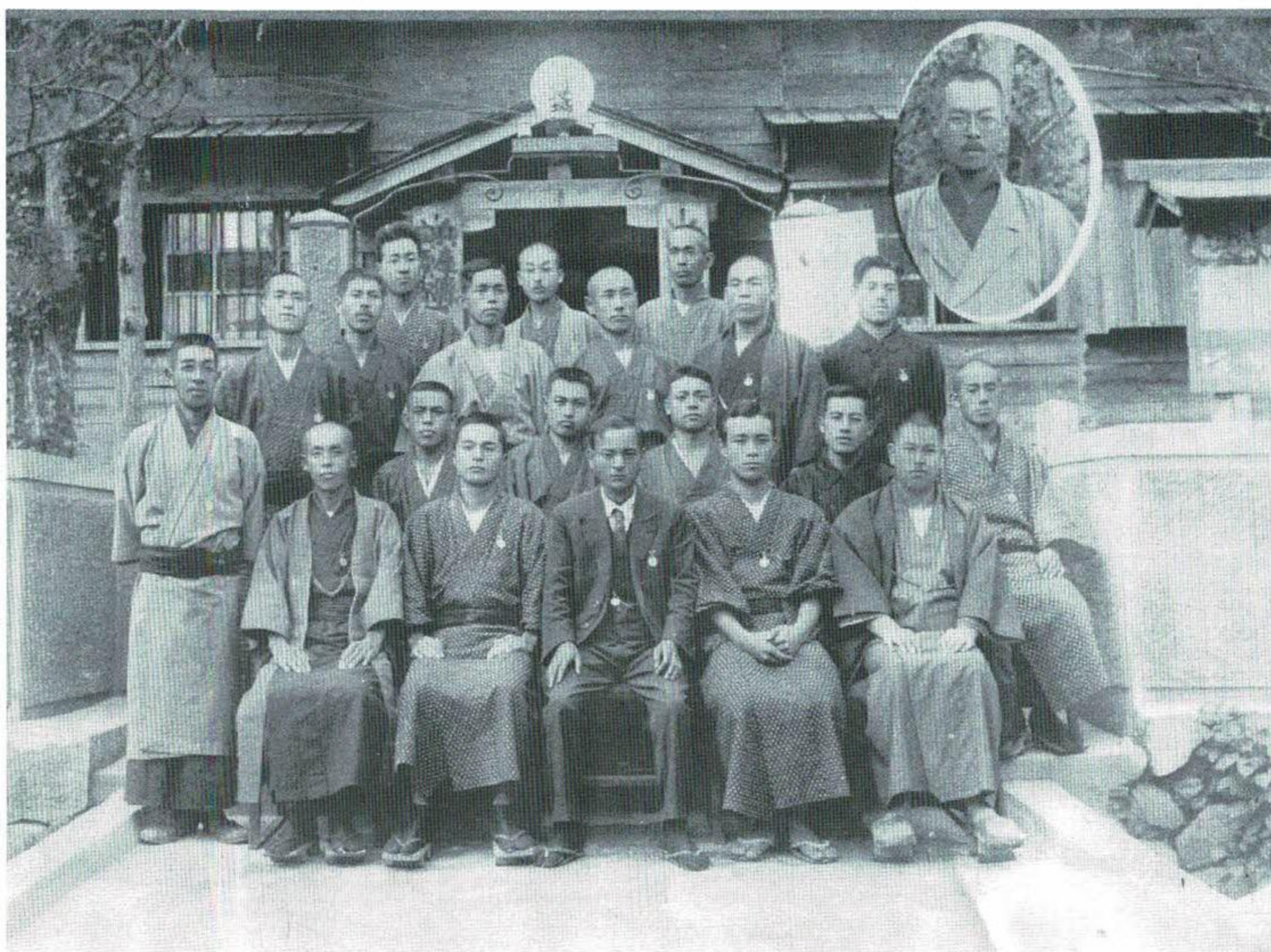
昭和12年 小豆島巡礼（西田マツヨ氏 提供）



原地区 青年によるさき踊り (石橋ユキエ氏 提供)



昭和30年代後半 水谷獅子舞 (岡前いちの氏 提供)



大正14年10月1日 第2回国勢調査記念



昭和22~23年頃撮影 旧西谷村役場にて (河野トミエ氏 提供)



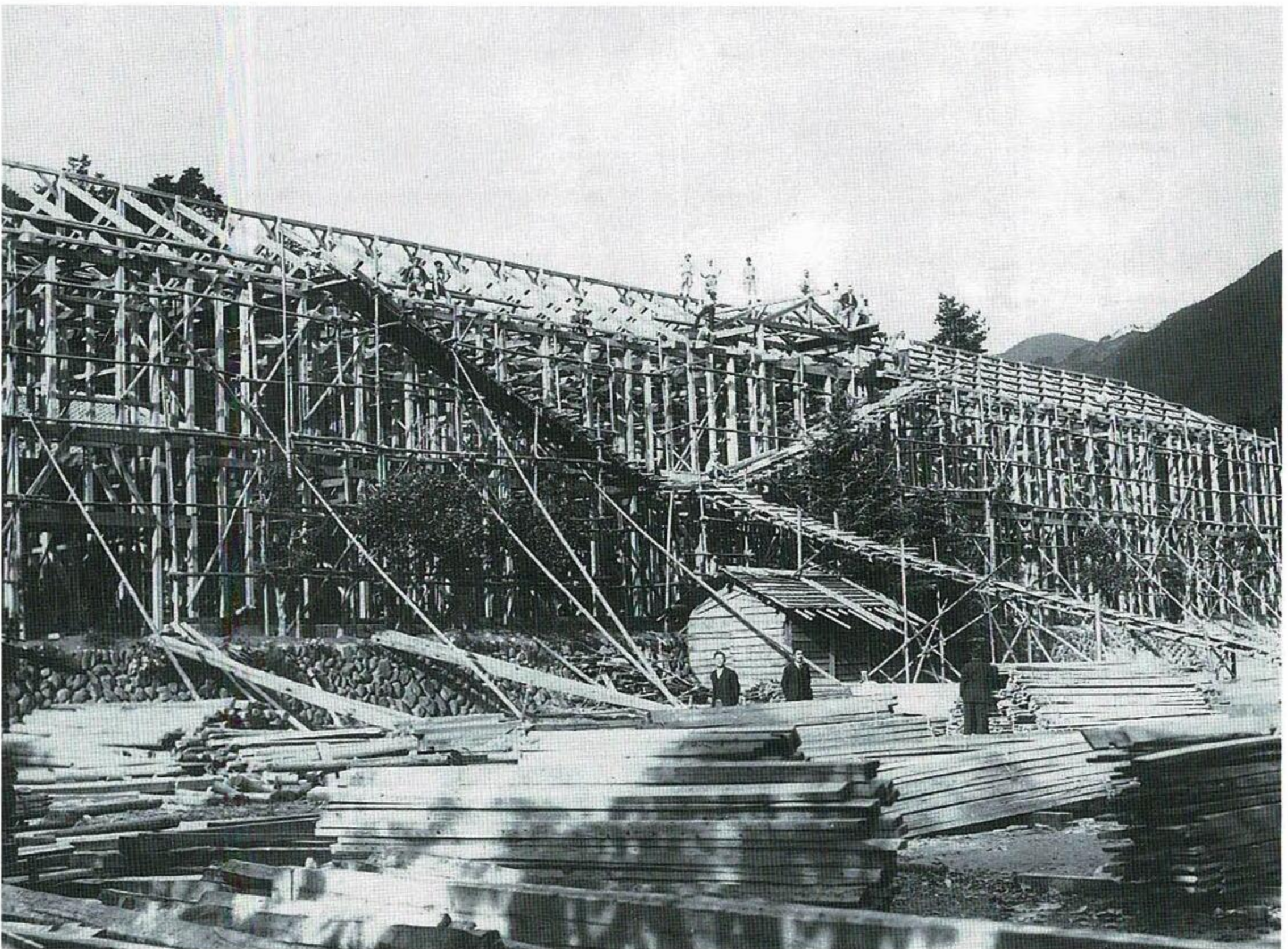
西谷村役場職員（昭和25年10月10日撮影）



奥谷村役場職員（岡田ひで子氏 提供）



大正9年新築の西谷小学校（小倉公子氏 提供）



昭和10年8月22日 西谷小学校建設工事着工



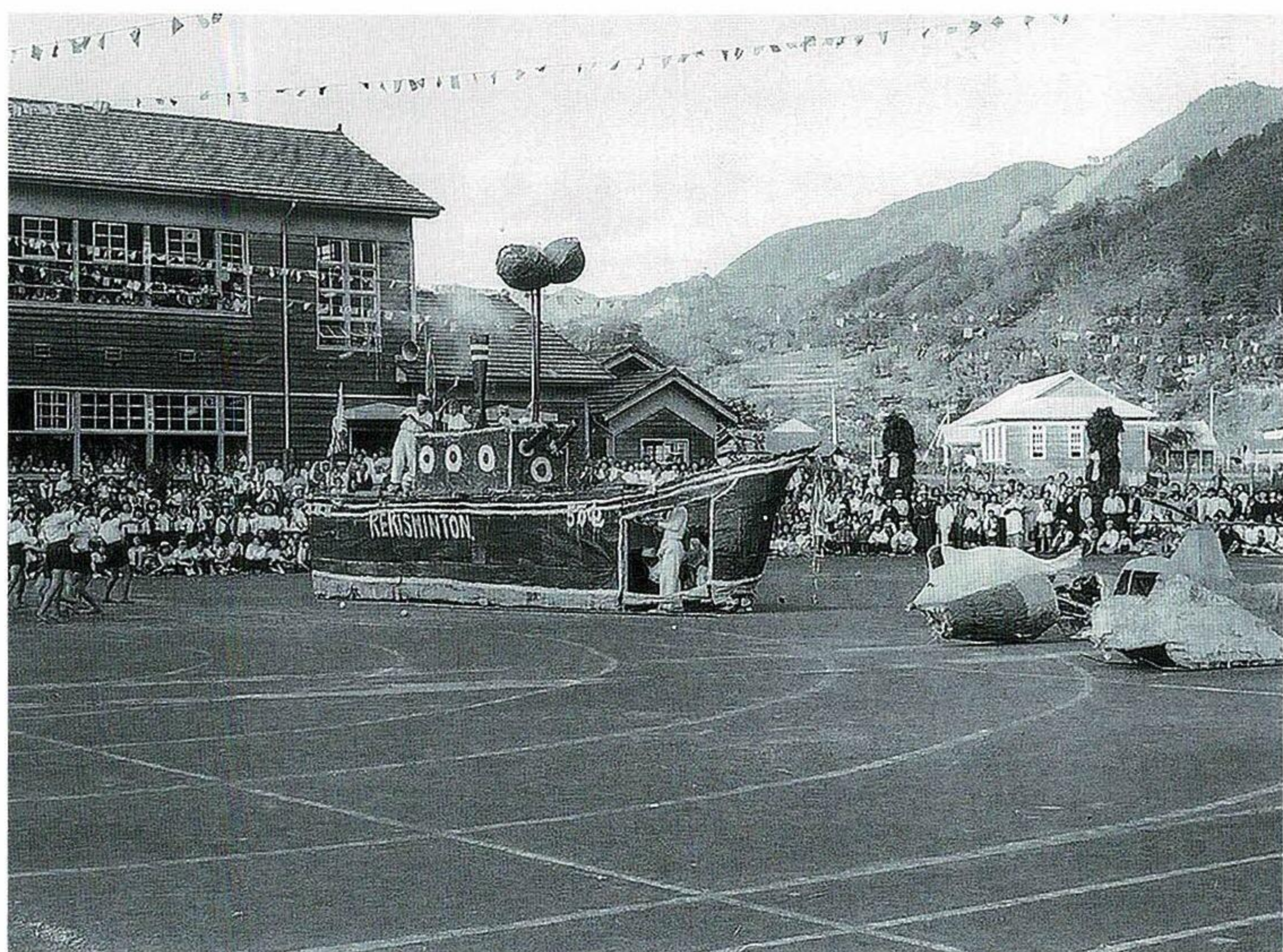
昭和11年4月3日 西谷小学校竣工



西谷国民学校表校舎全景 写真左側材料は裏校舎建設用材（岡前勇夫氏 提供）



安賀全景（中岡時枝氏 提供）



波賀中学校体育祭（早川恒子氏 提供）



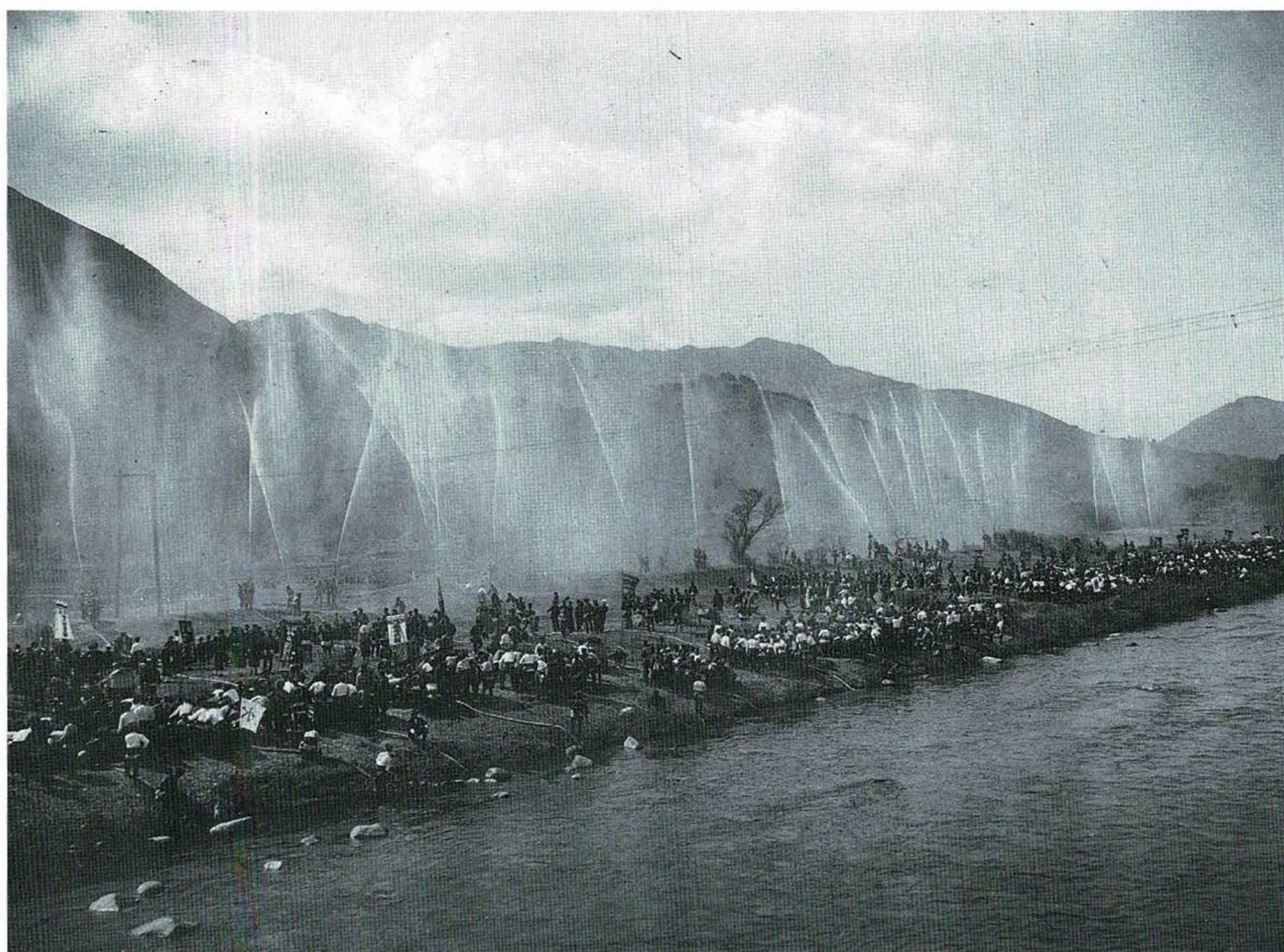
昭和29年 道谷小学校運動会（幸福照夫氏 提供）



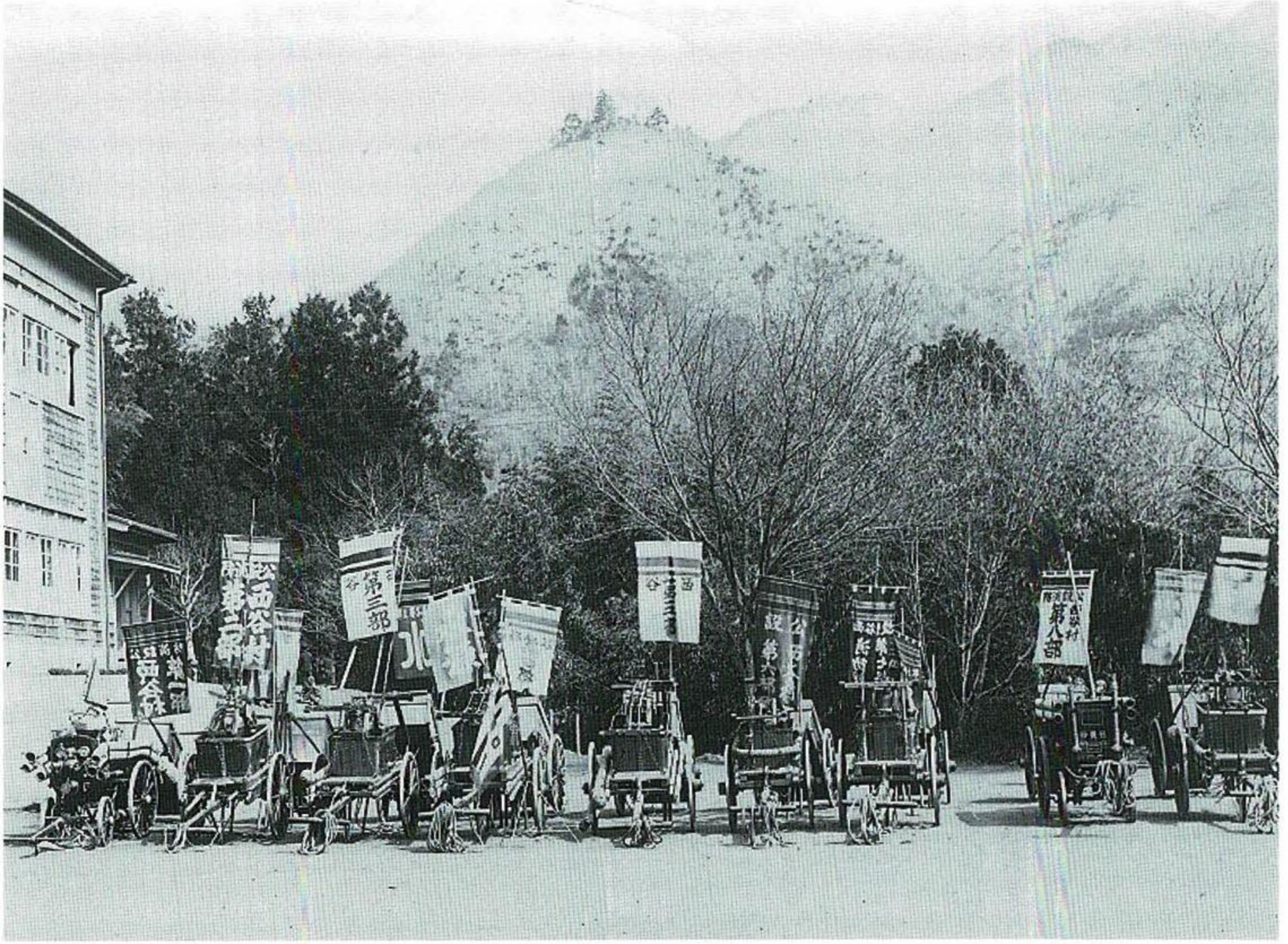
兵庫県立山崎高等学校西谷分校第1回卒業生（昭和27年）



郡北消防聯合演習



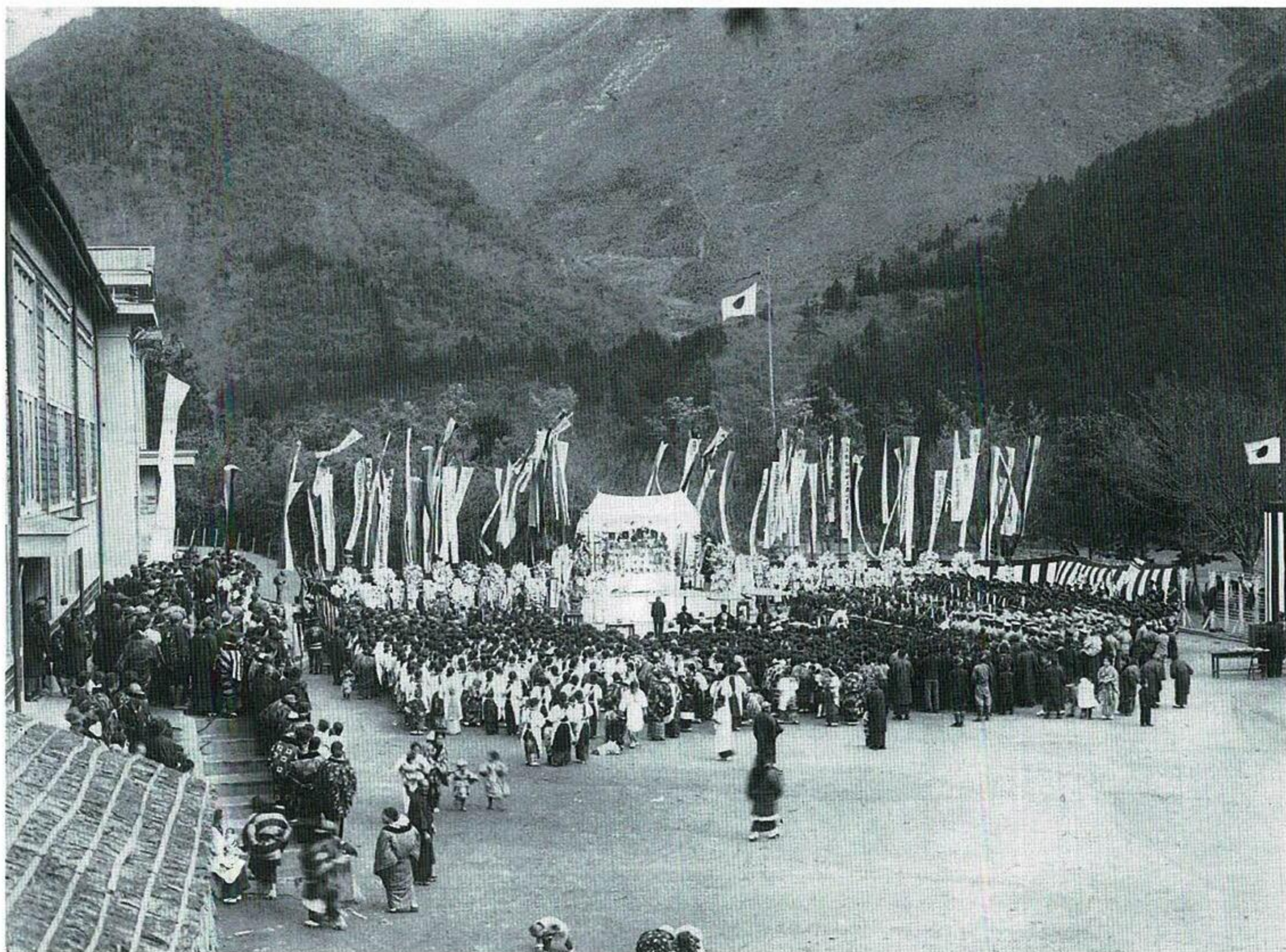
消防一斉放水（山崎にて）



西谷村公設消防ポンプ（西谷小学校にて）



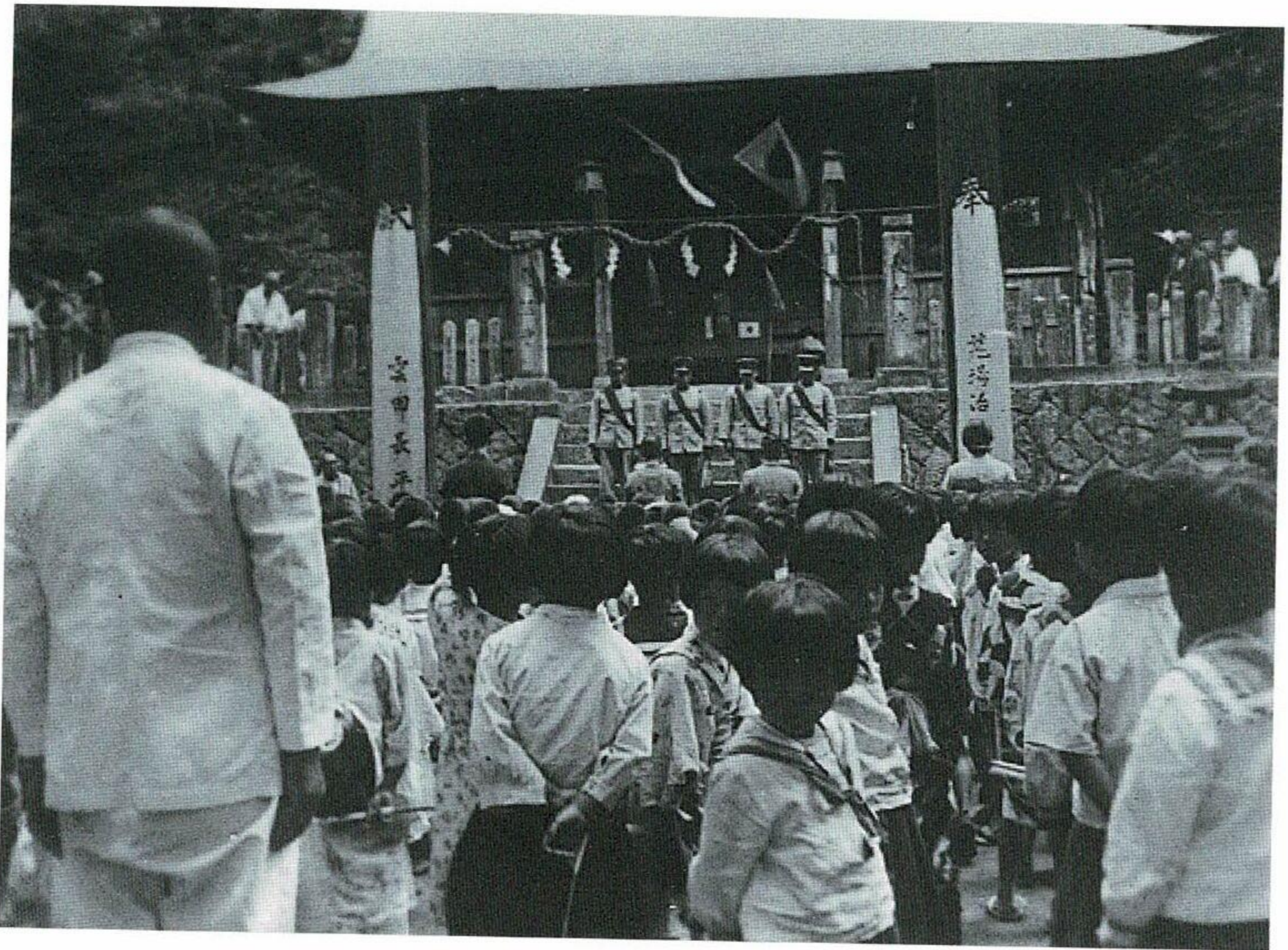
西谷村女子青年団支那派遣（西谷小学校庭にて）



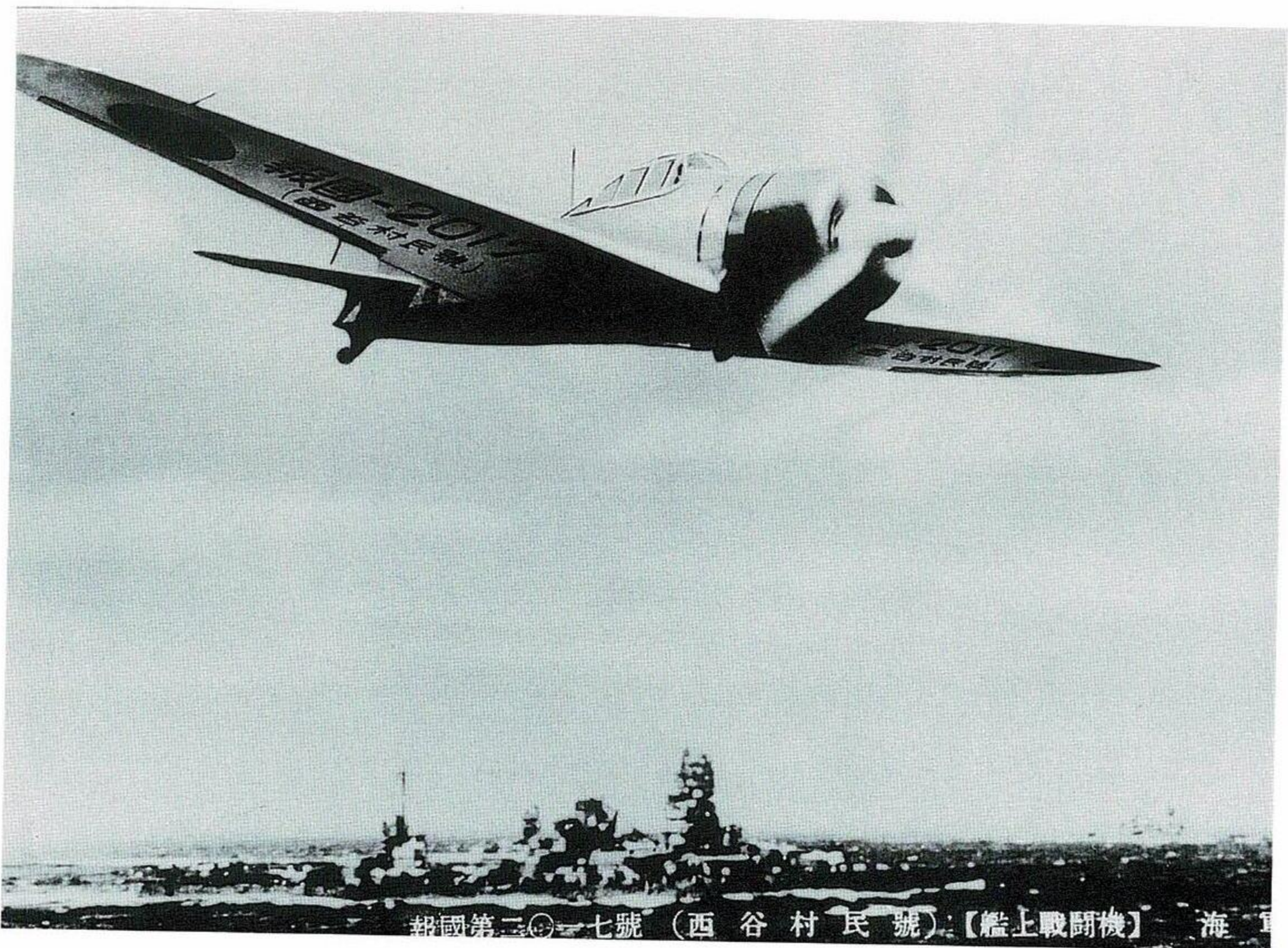
昭和12年11月23日 支那事变戦死者村葬（西谷小学校庭にて）



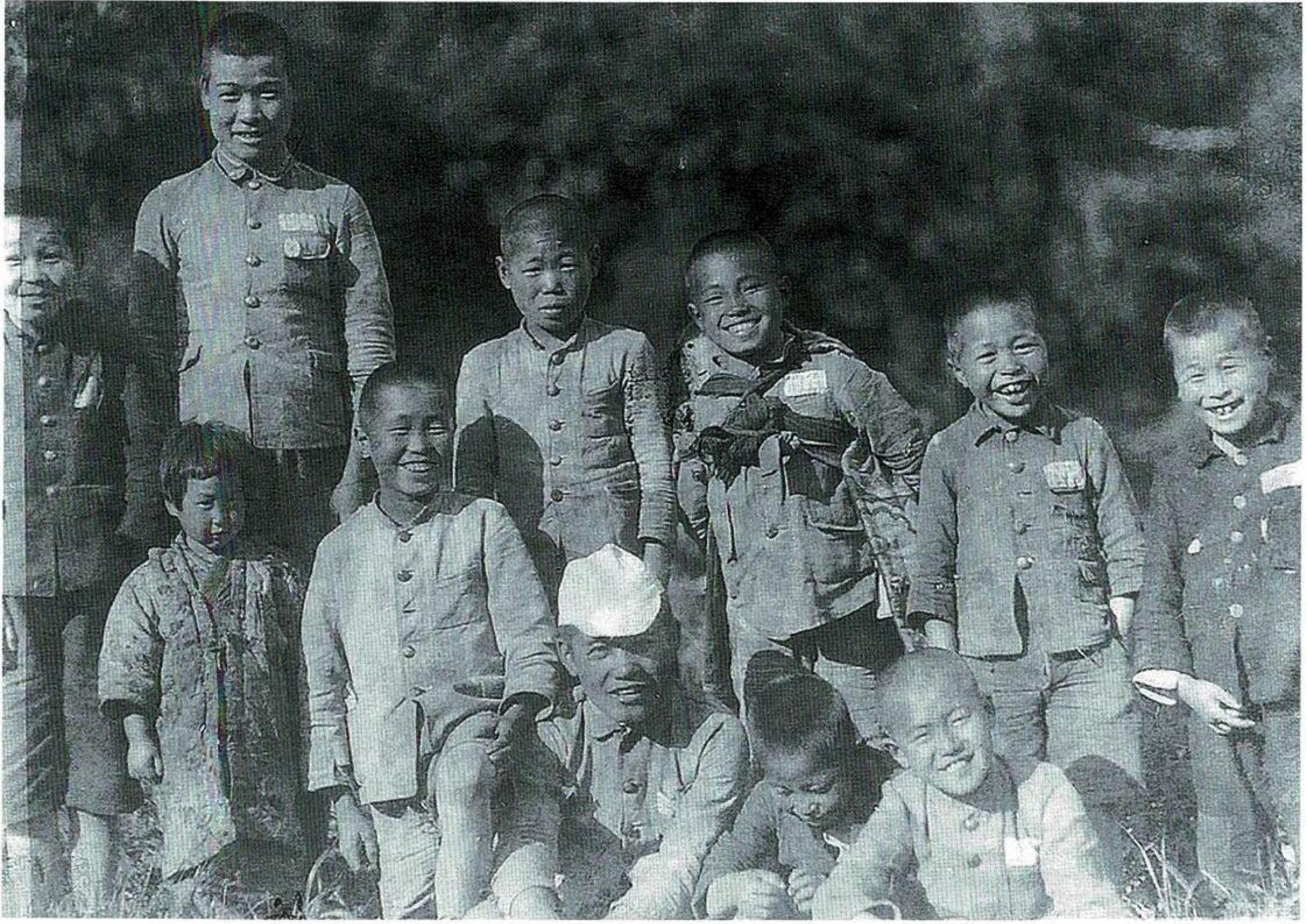
昭和14年5月26日 忠魂碑除幕式



出征兵士壮行（安賀八幡神社にて）



艦上戦闘機 報国第2017号【西谷村民号】（河野トミエ氏 提供）



昭和20年6月10日撮影 小野地区の子どもたち（大成泰生氏 提供）



昭和23年頃赤西にて 木馬による木材搬出（西田マツヨ氏 提供）



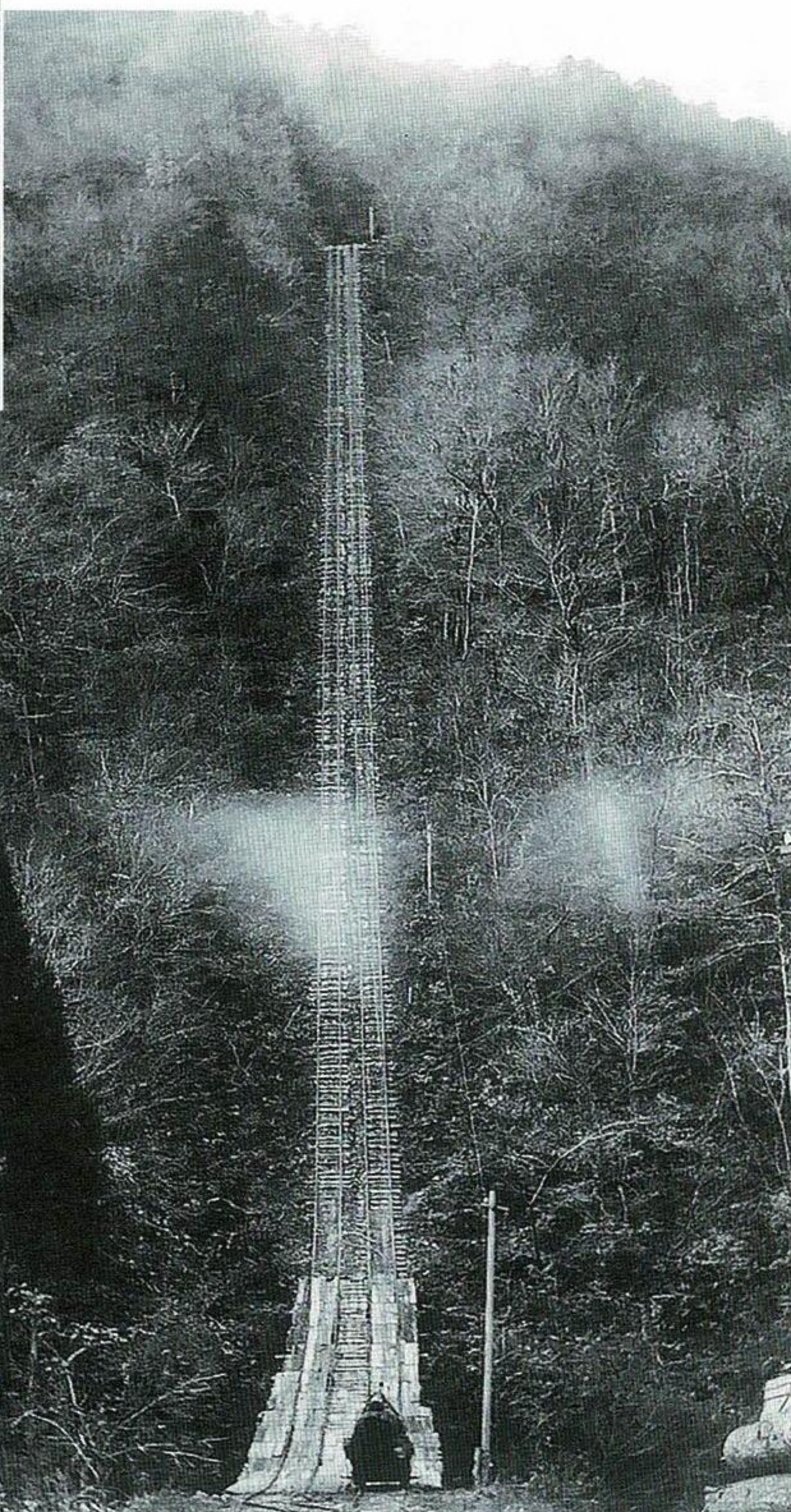
木材集材作業（西田マツヨ氏 提供）



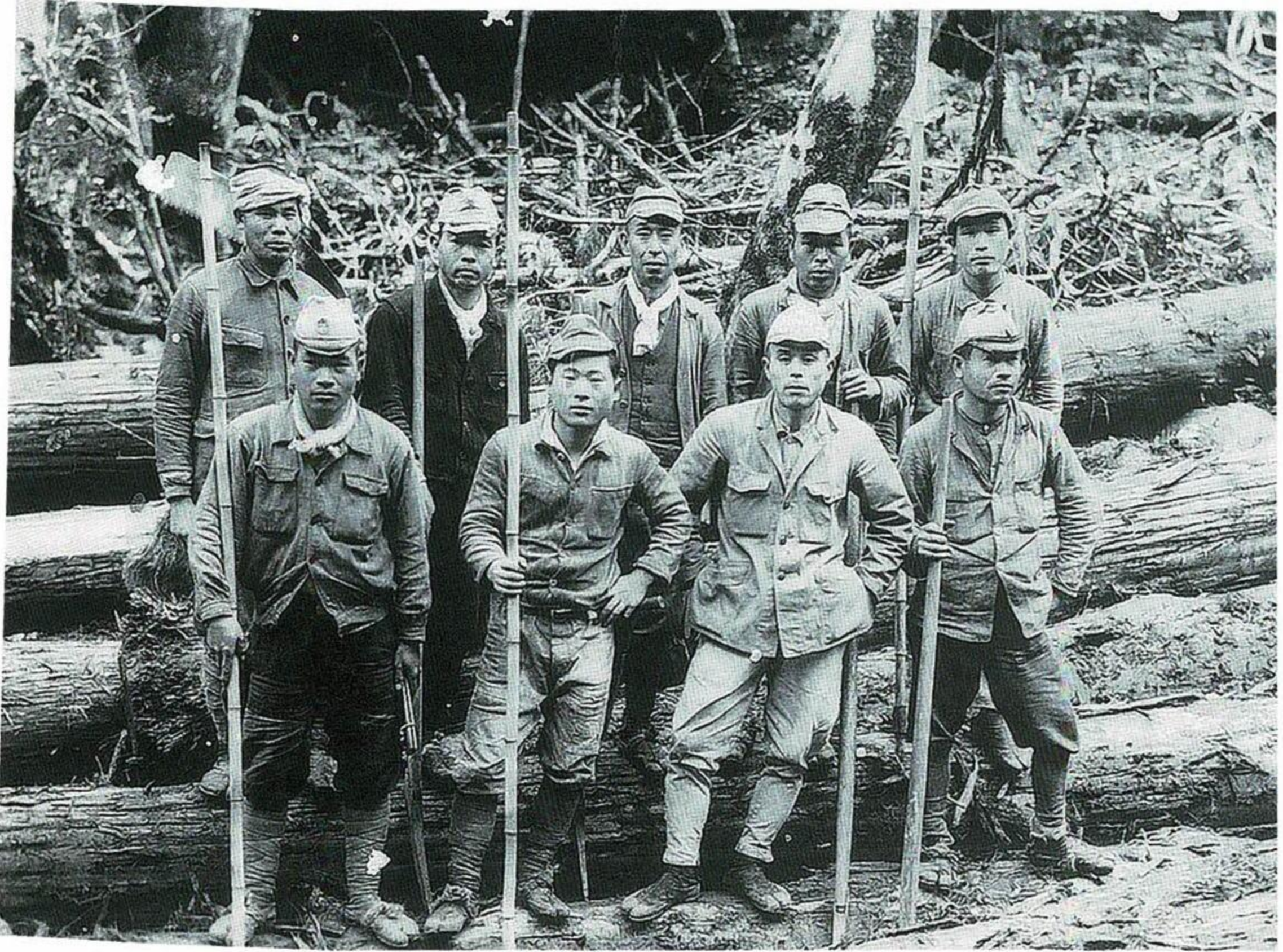
音水国有林中音水単軌木馬（中谷 薫氏 提供）



木馬による木材搬出作業（高石敏雄氏 提供）



インクラによる木材搬出（川原嘉之氏 提供）



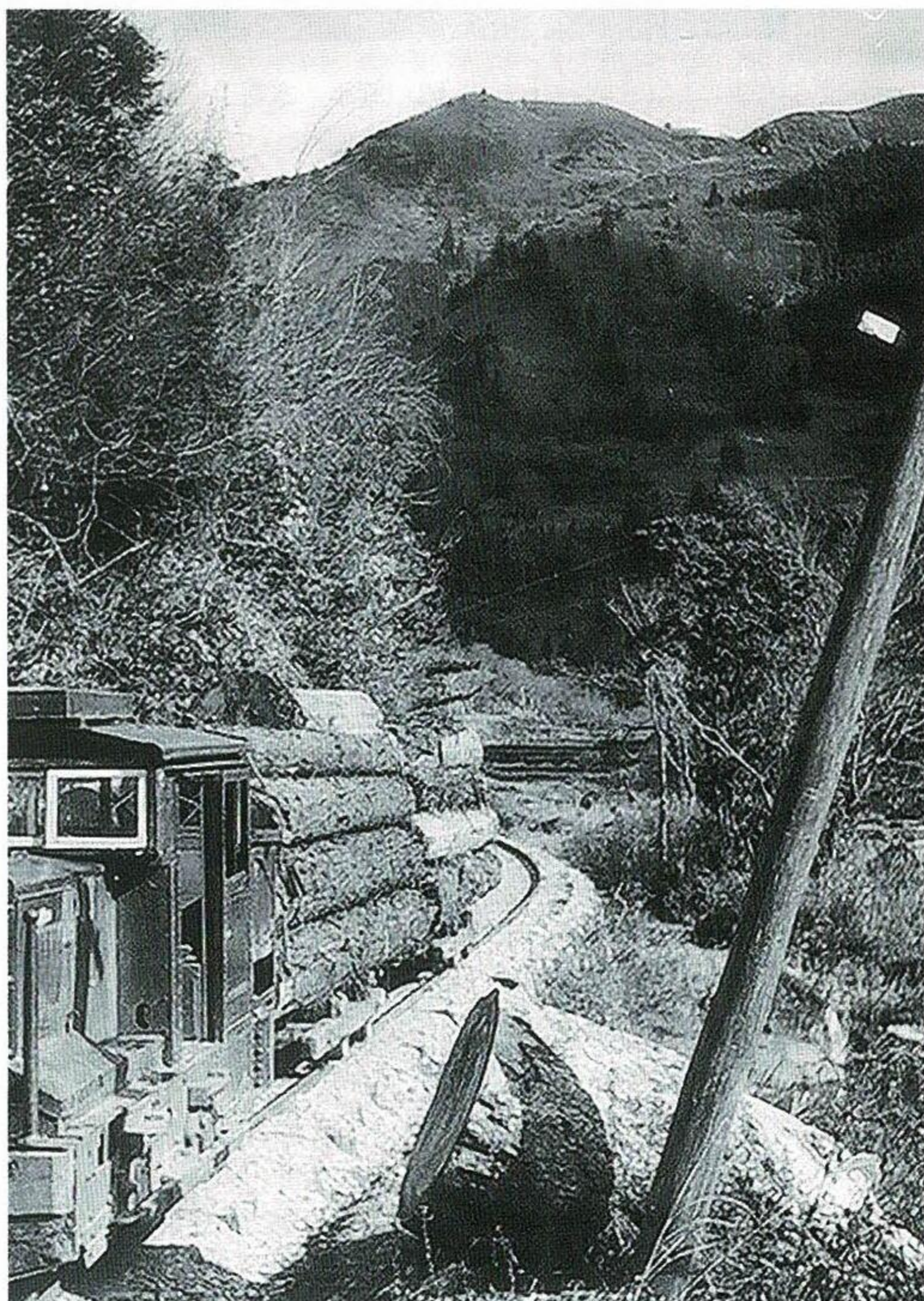
昭和27年 木寄手 音水にて (幸福照夫氏 提供)



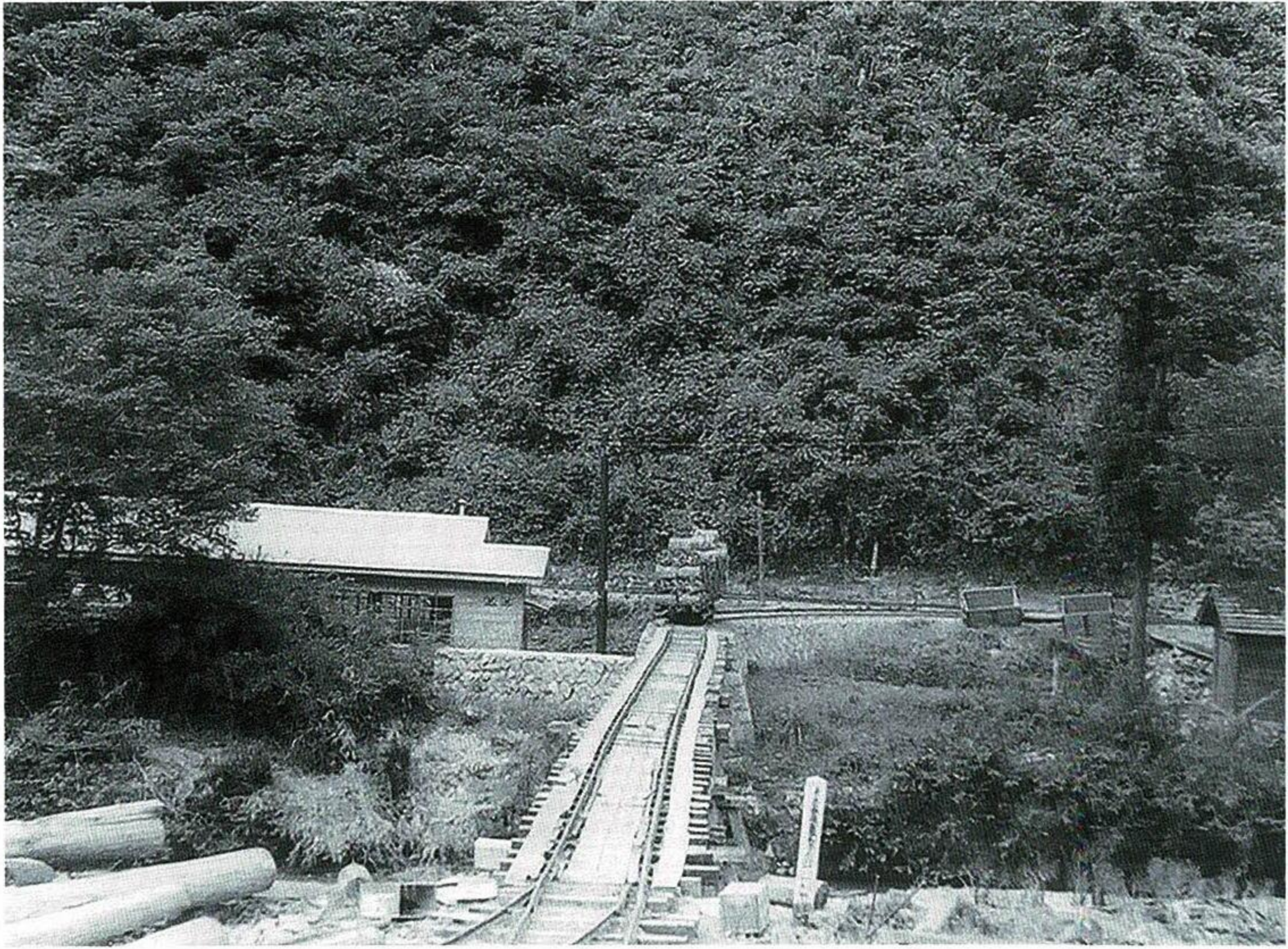
昭和29年 戸倉坂ノ谷インクラ (橋元利之氏 提供)



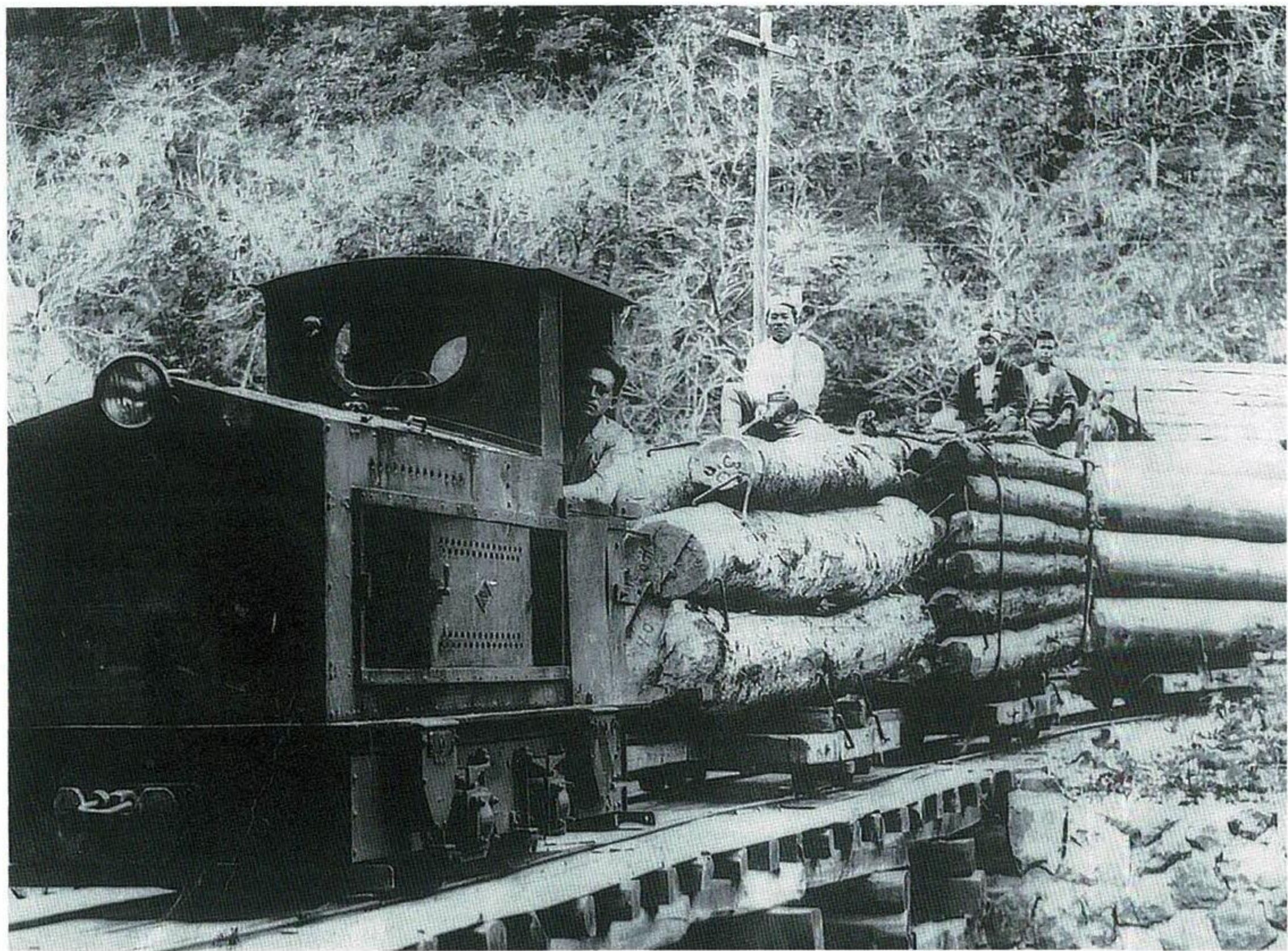
木材搬出作業中 昼食風景（橋元利之氏 提供）



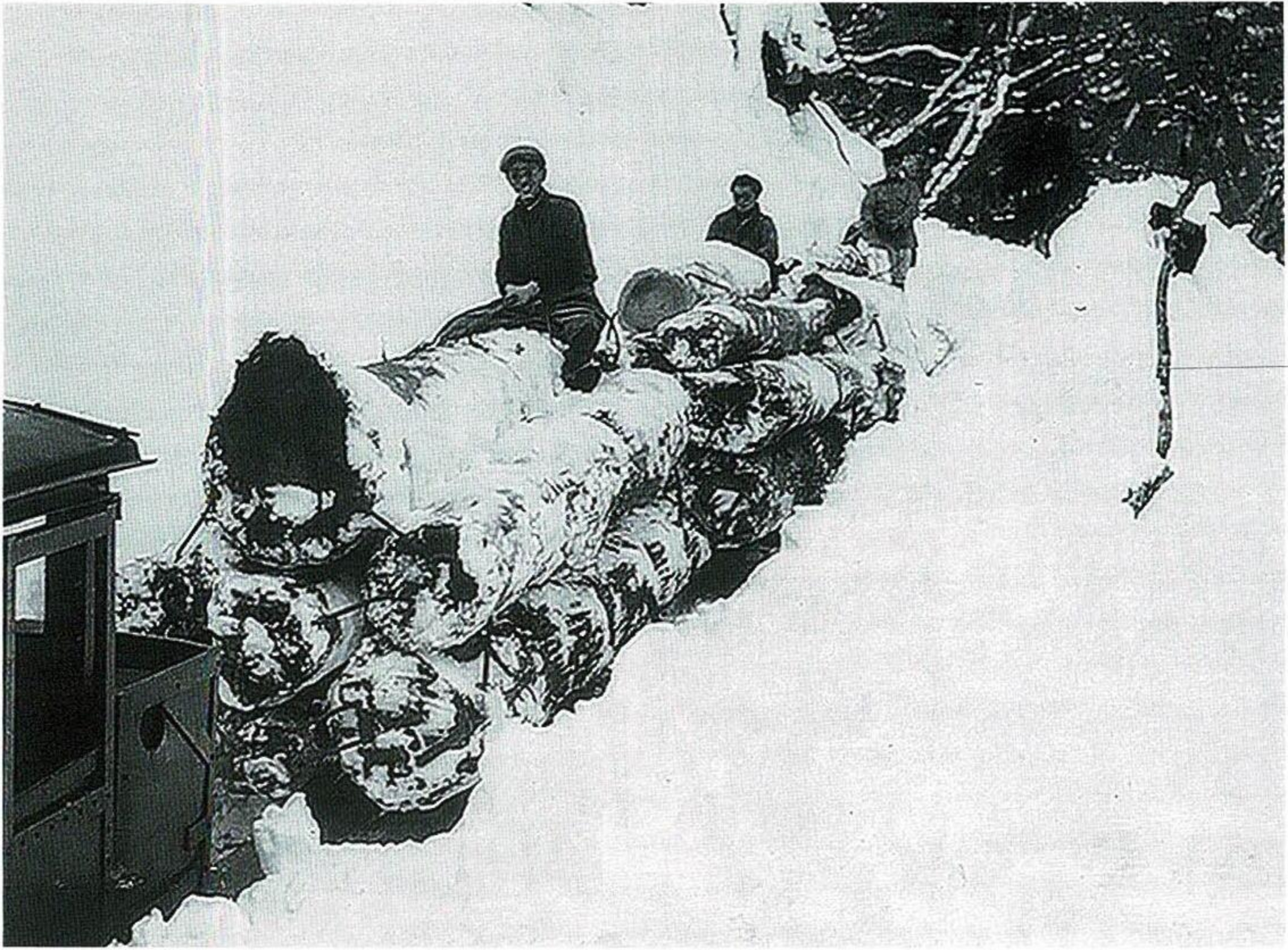
二連瀬西側軌道をトロッコを引いて走る機関車（坂口 實氏 提供）



二連瀬貯木場へ入るトロッコ（坂口 實氏 提供）



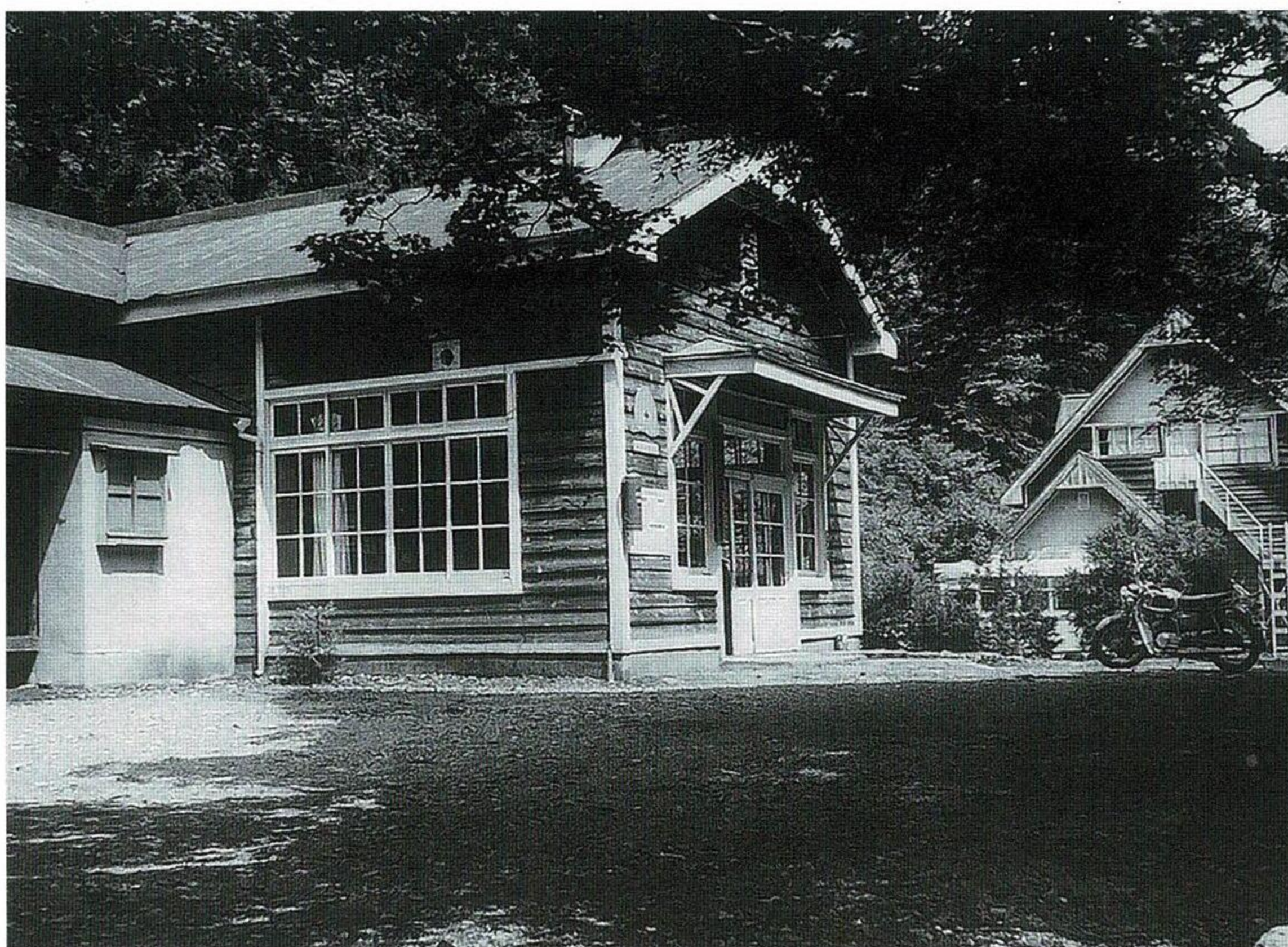
赤西国有林事務所下の森林鉄道（橋元利之氏 提供）



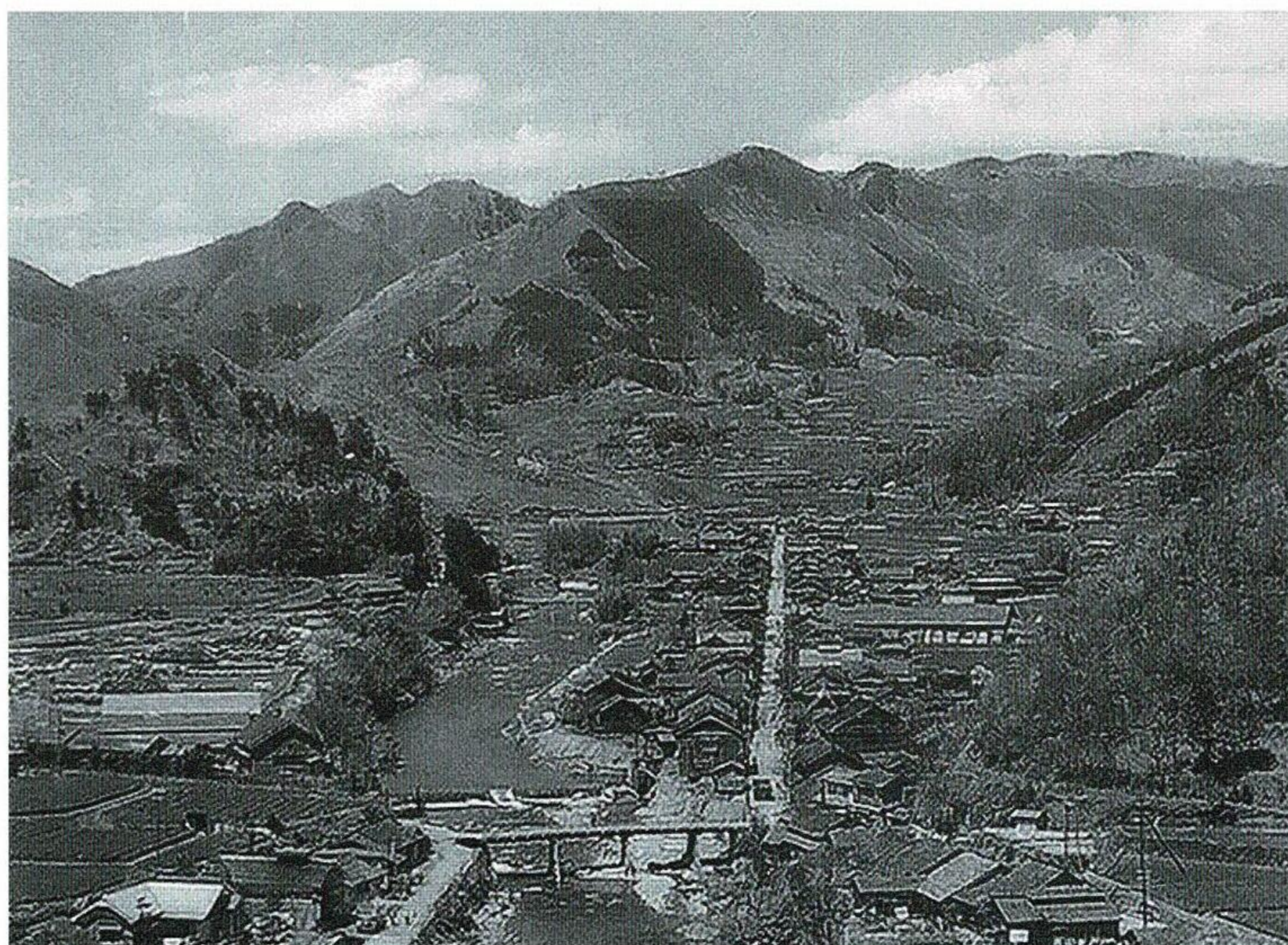
昭和19年頃 除雪をしながら走る機関車（坂口 實氏 提供）



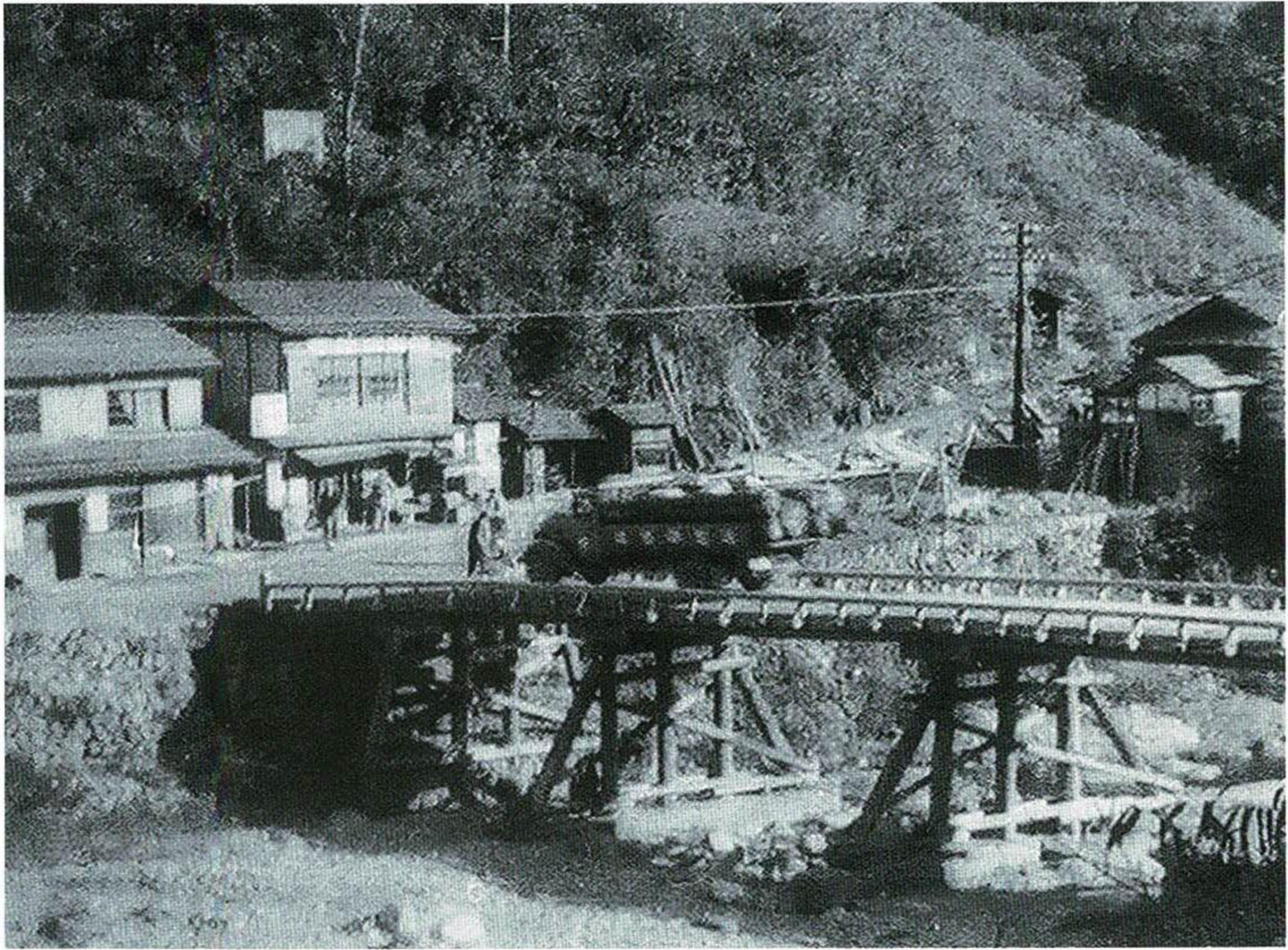
昭和20年代 黒炭生産（坂口 實氏 提供）



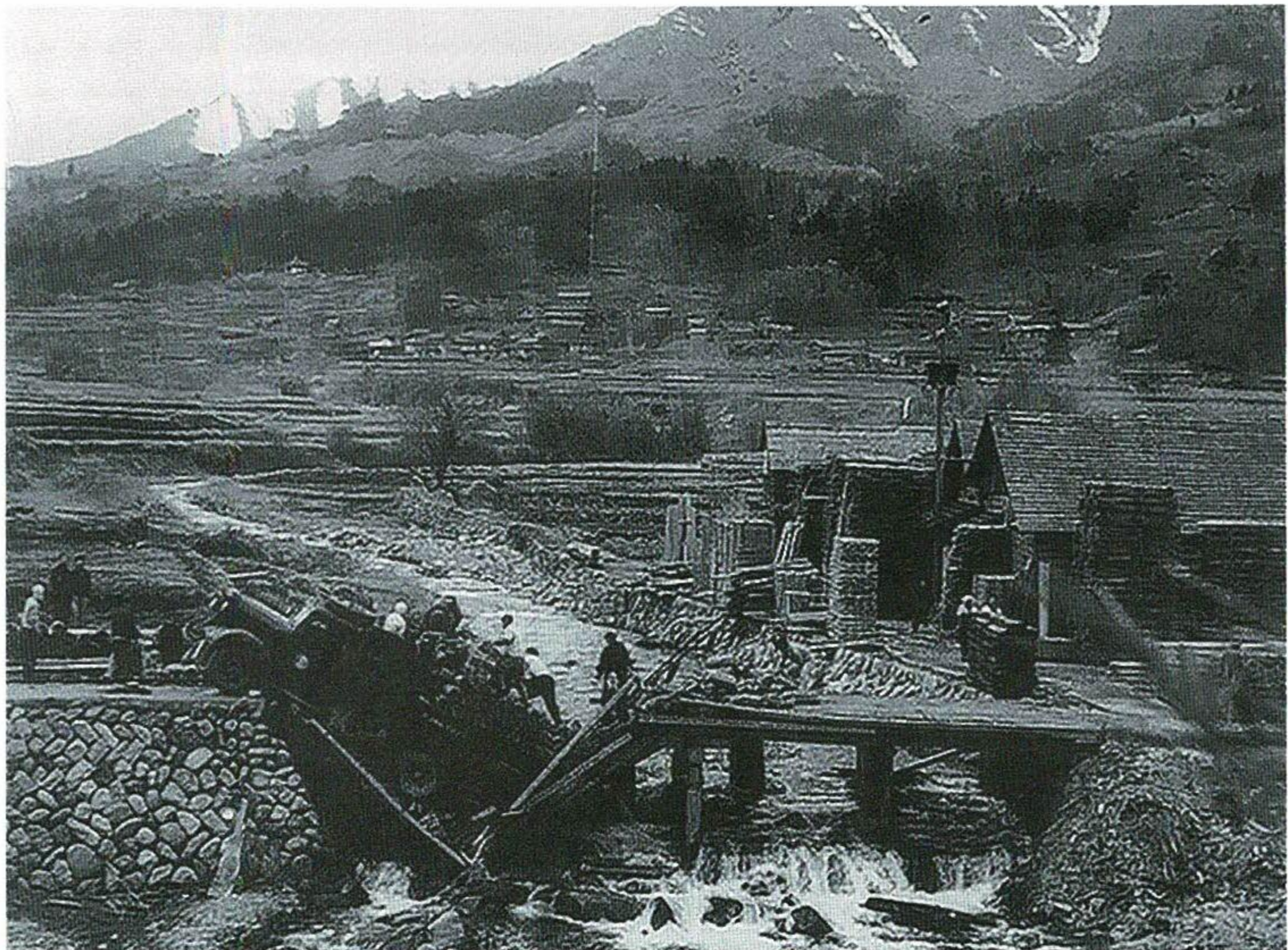
昭和30年頃 赤西国有林赤西事業所事務所（坂口 實氏 提供）



ながら橋付近（中岡時枝氏 提供）



昭和20年代 ながら橋（坂口 實氏 提供）



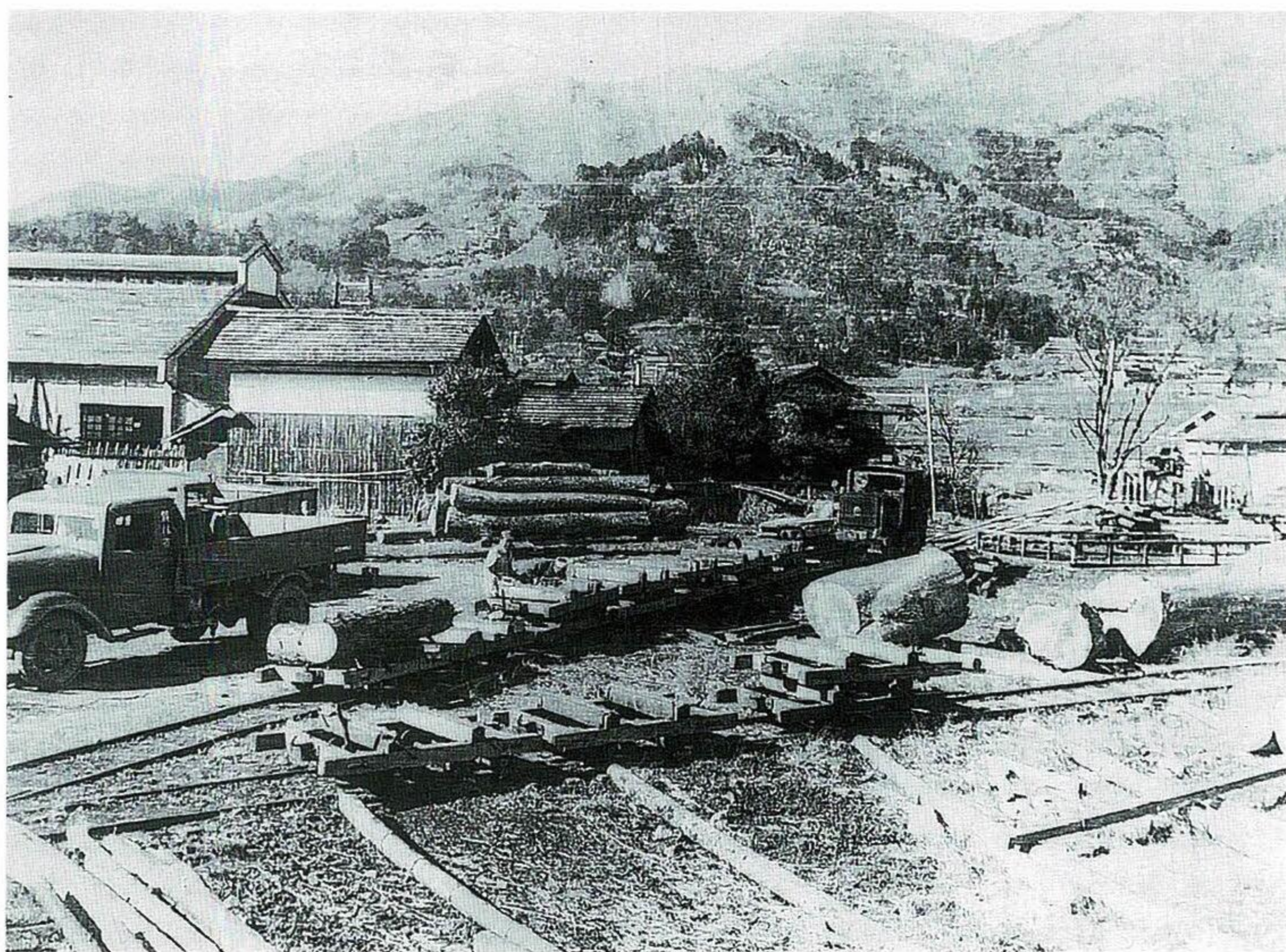
斉木川にかかる橋落下にて救出現場（中岡時枝氏 提供）



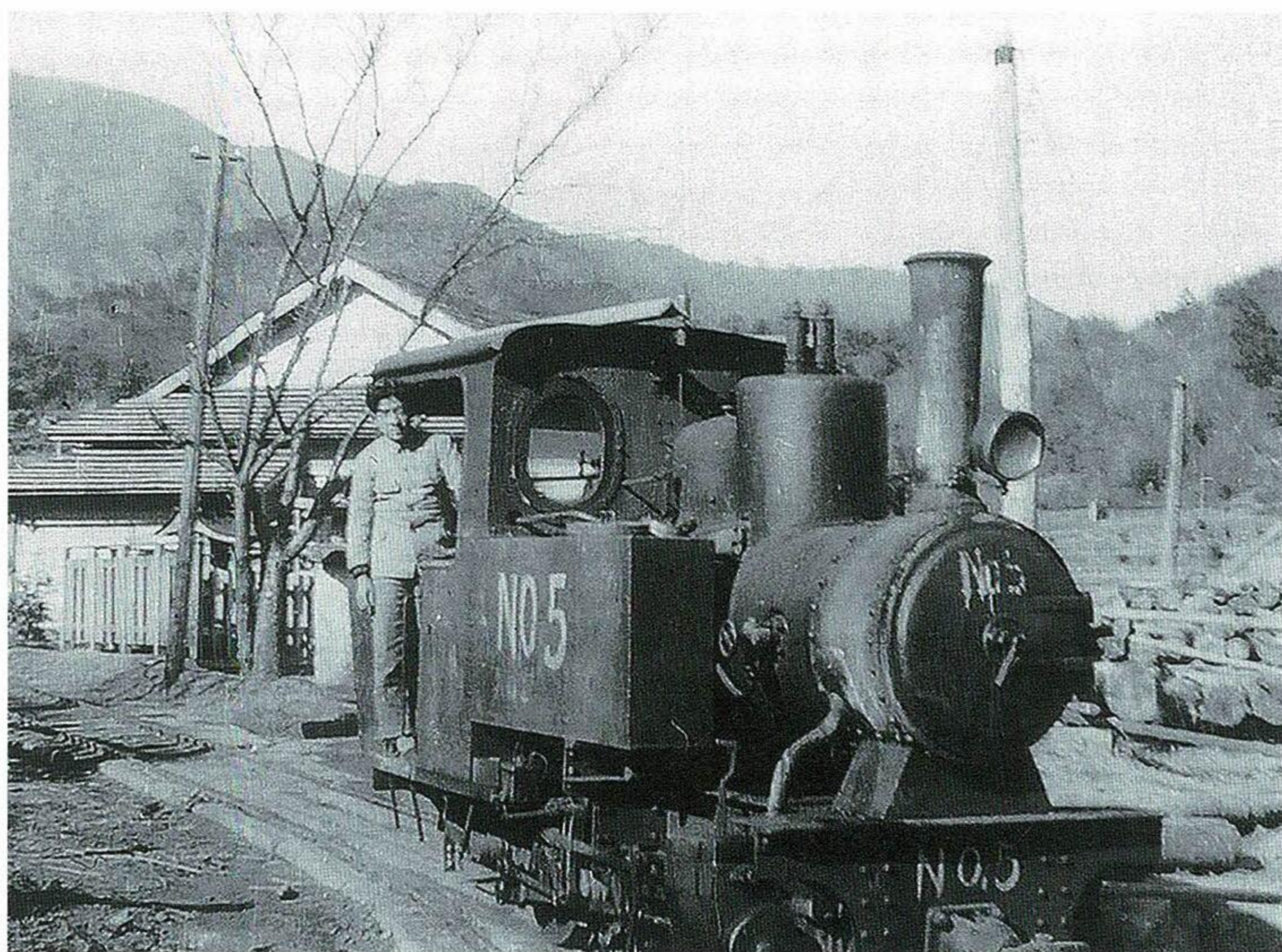
山崎宮林署上野貯木場事務所（坂口 實氏 提供）



山崎宮林署上野貯木場 中央を軌道が走る（坂口 實氏 提供）



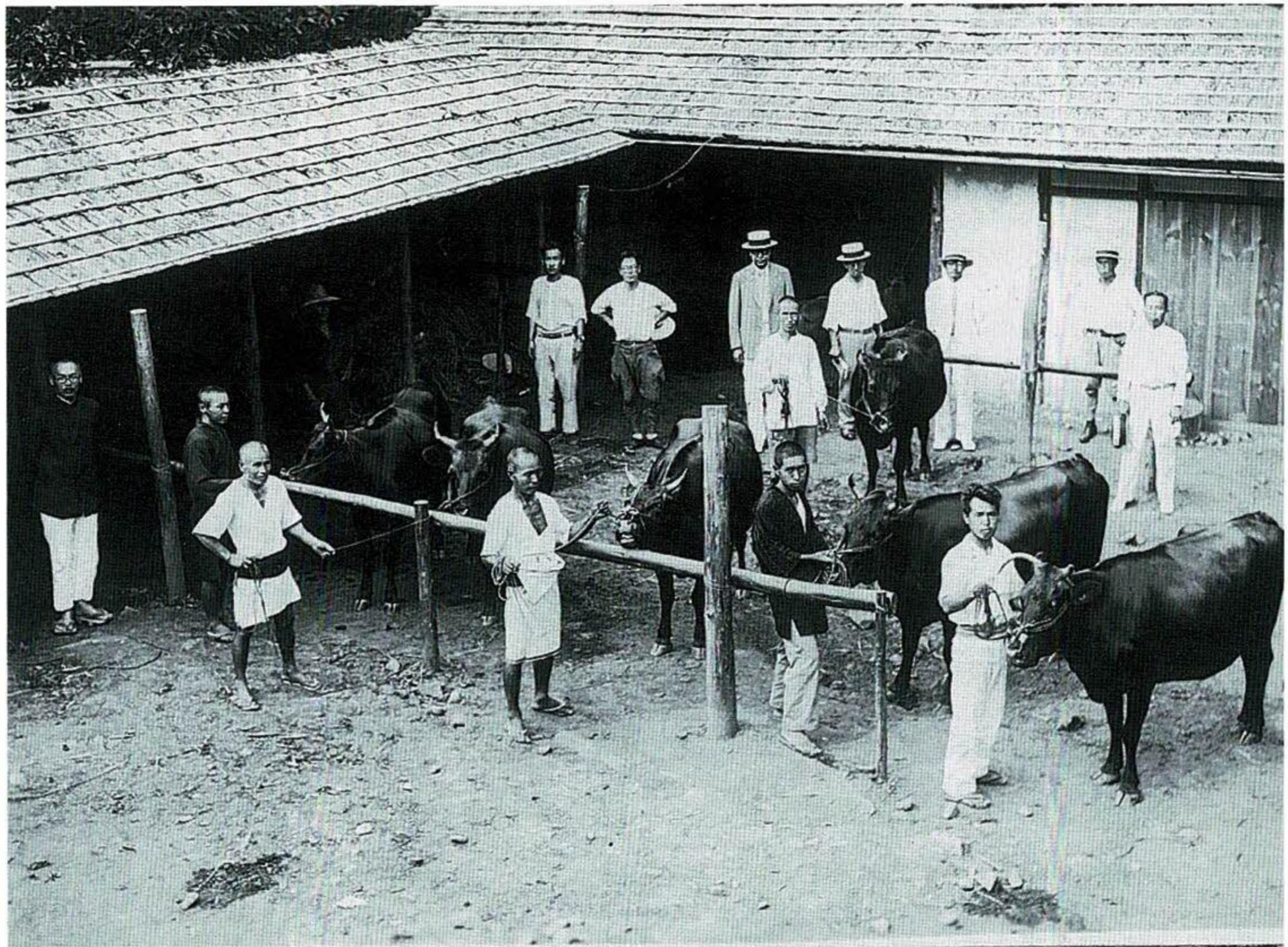
山崎宮林署上野貯木場（喜多寅雄氏 提供）



山崎宮林署上野貯木場にて 木材運搬用機関車（喜多寅雄氏 提供）



西谷村畜産改良実行組合種牡牛飼育所（昭和9年秋）



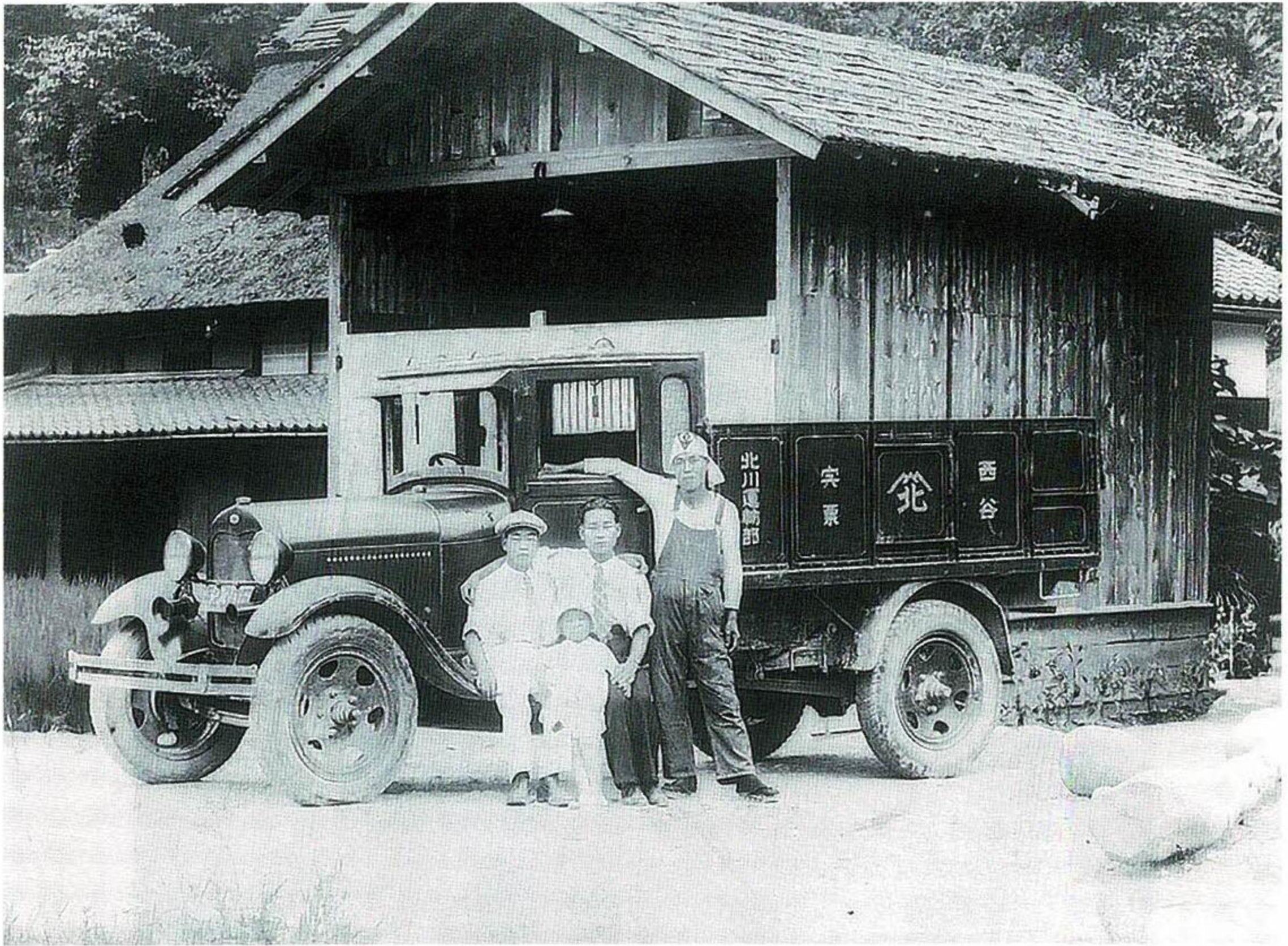
犢牛品評会



昭和10年11月 犢牛品評会



昭和10年11月 一宮市の様子



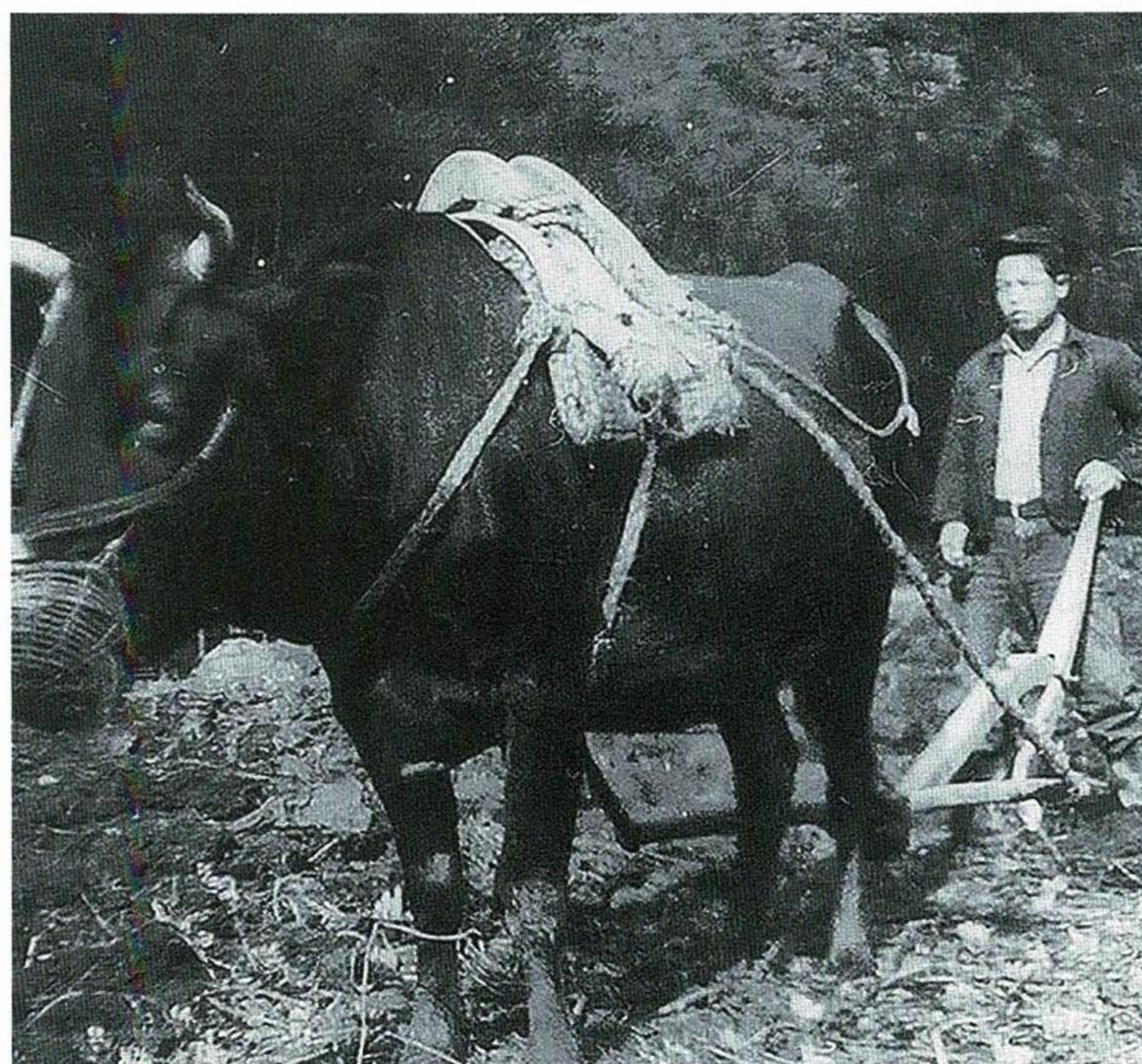
運送業に使用されたトラック（北川博康氏 提供）



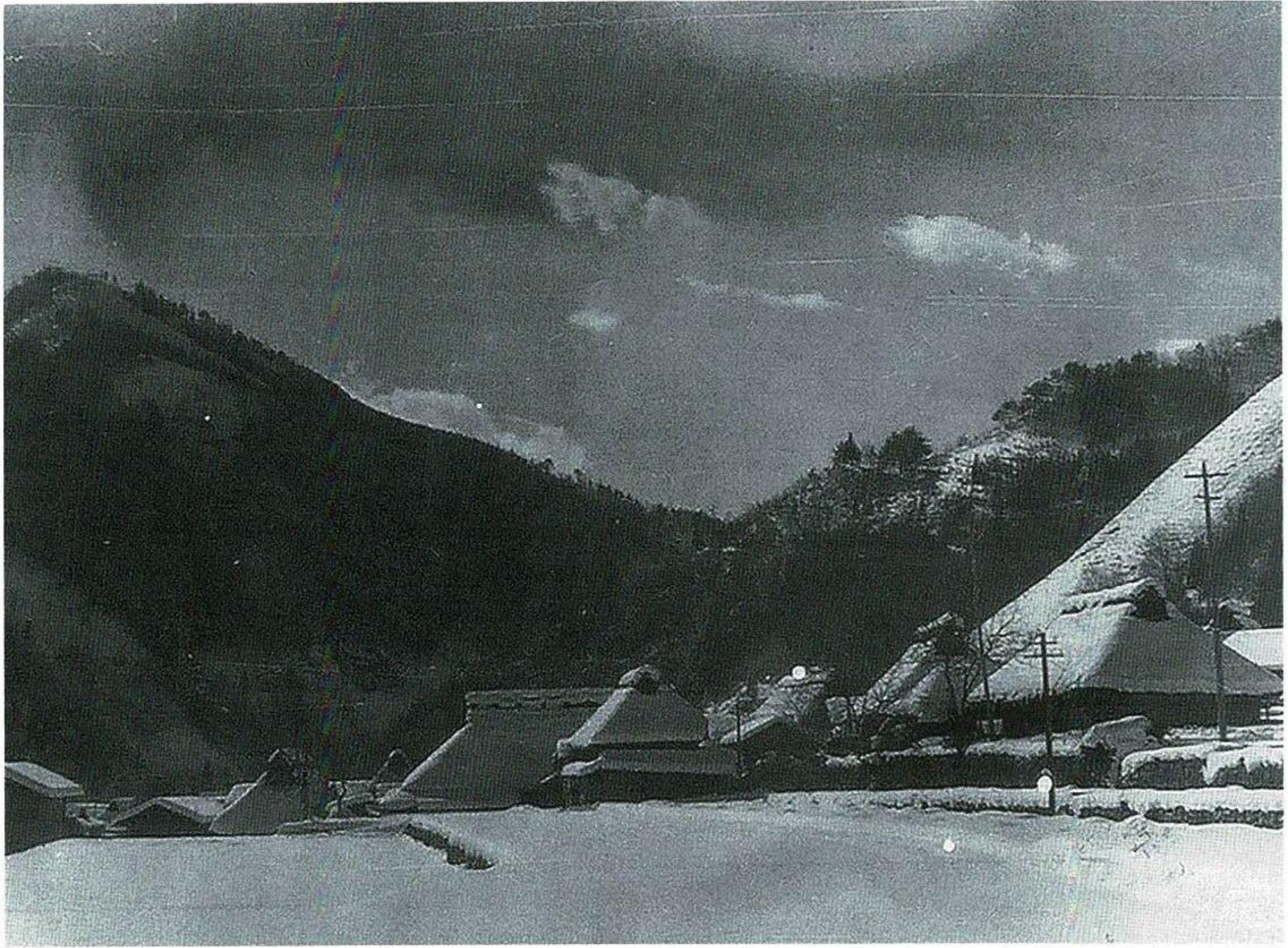
昭和26年～28年頃 脱穀作業（上杉時枝氏 提供）



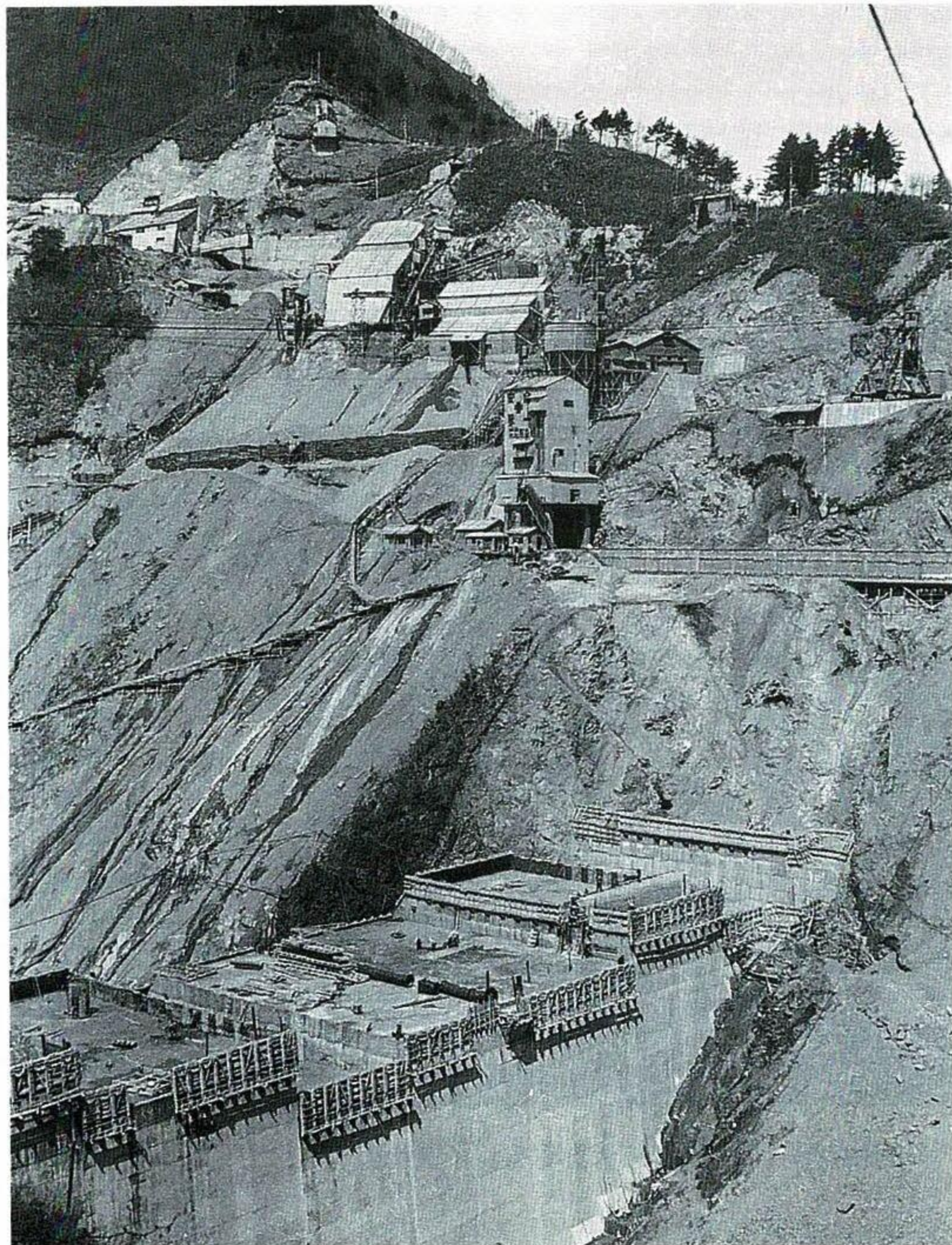
牛と唐鋤（大成正三氏 提供）



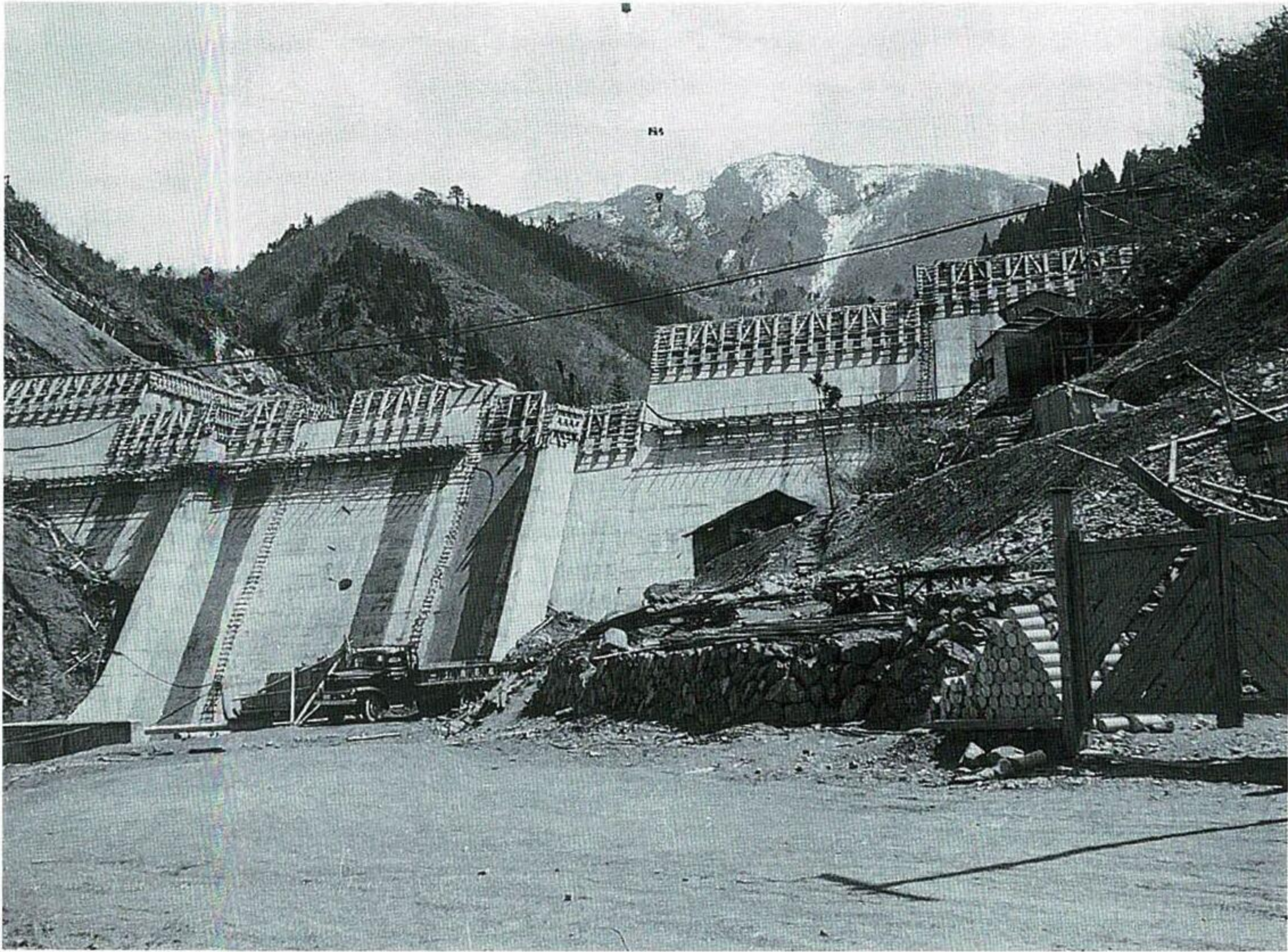
くつごを付けた牛と唐鋤（谷尻 昇氏 提供）



昭和28年1月 引原にて（幸福照夫氏 提供）



建設中の引原ダム
（堀 市雄氏 提供）



建設中の引原ダム（堀 市雄氏 提供）



昭和30年 宍粟郡青年大会奥谷村予選大会引原にて（堀 市雄氏 提供）



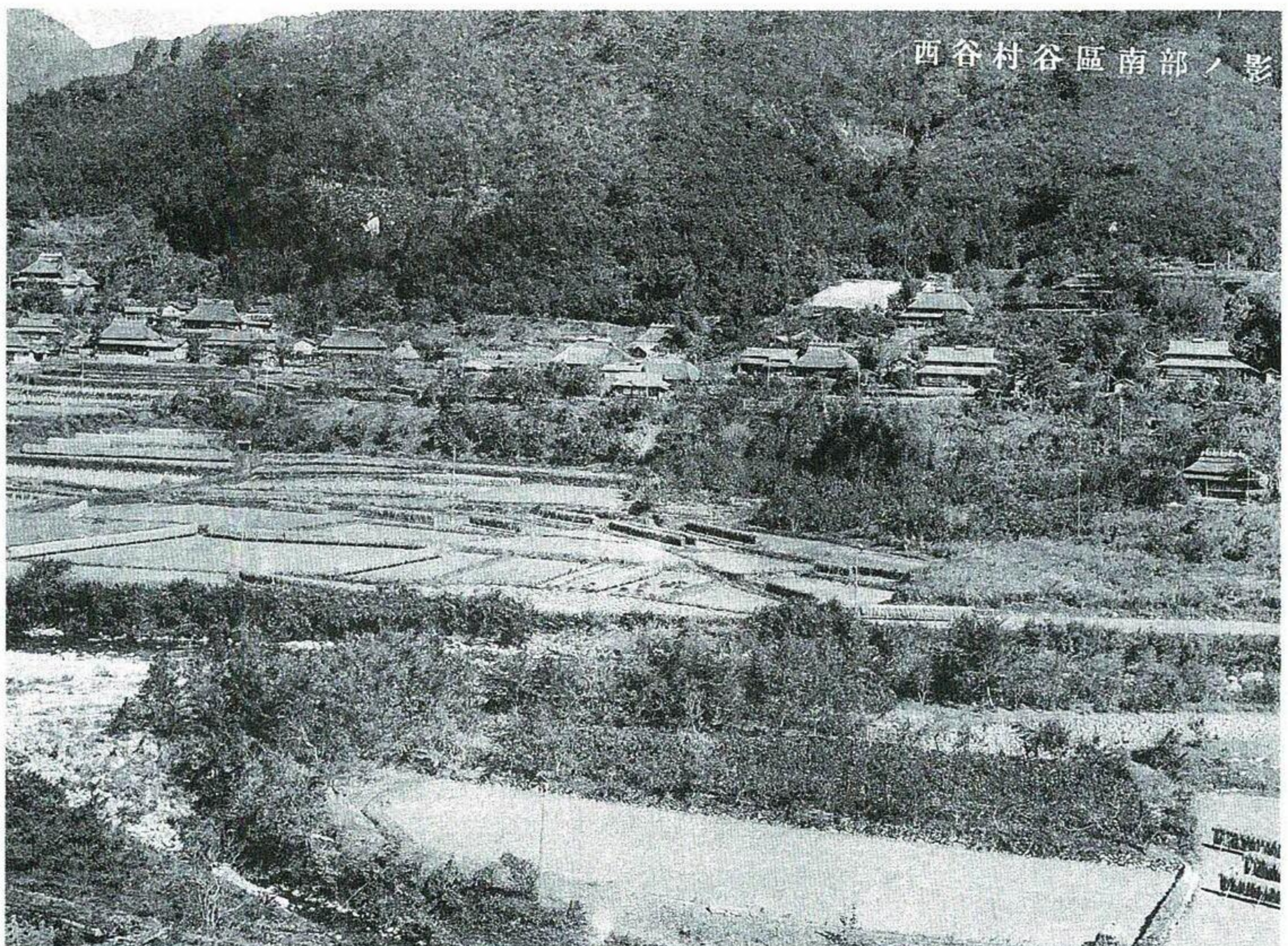
昭和30年 宍粟郡青年大会奥谷村予選大会引原にて（堀 市雄氏 提供）



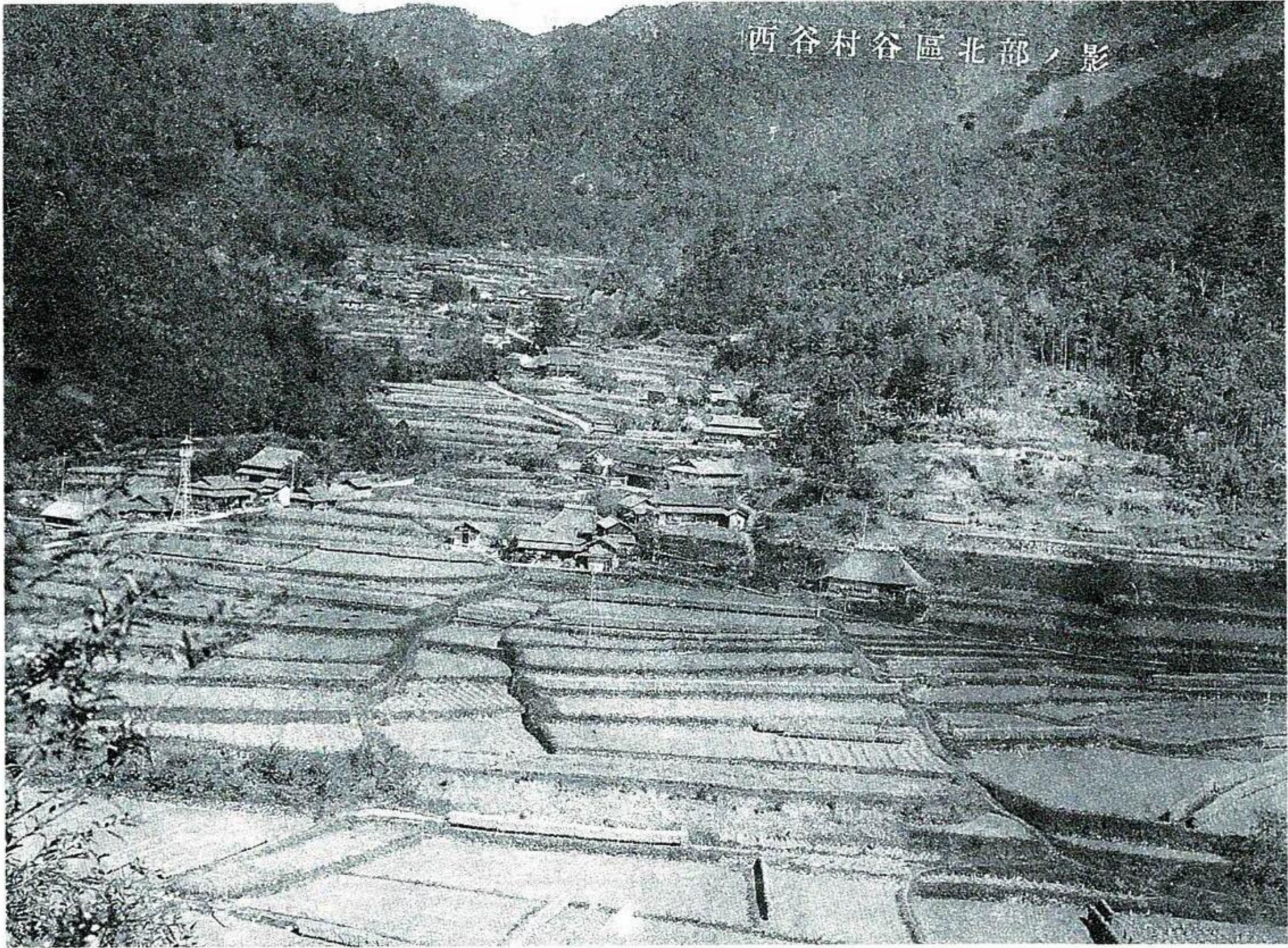
昭和30年 宍粟郡青年大会奥谷村予選大会引原にて（堀 市雄氏 提供）



西谷村日見谷（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村谷南部（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



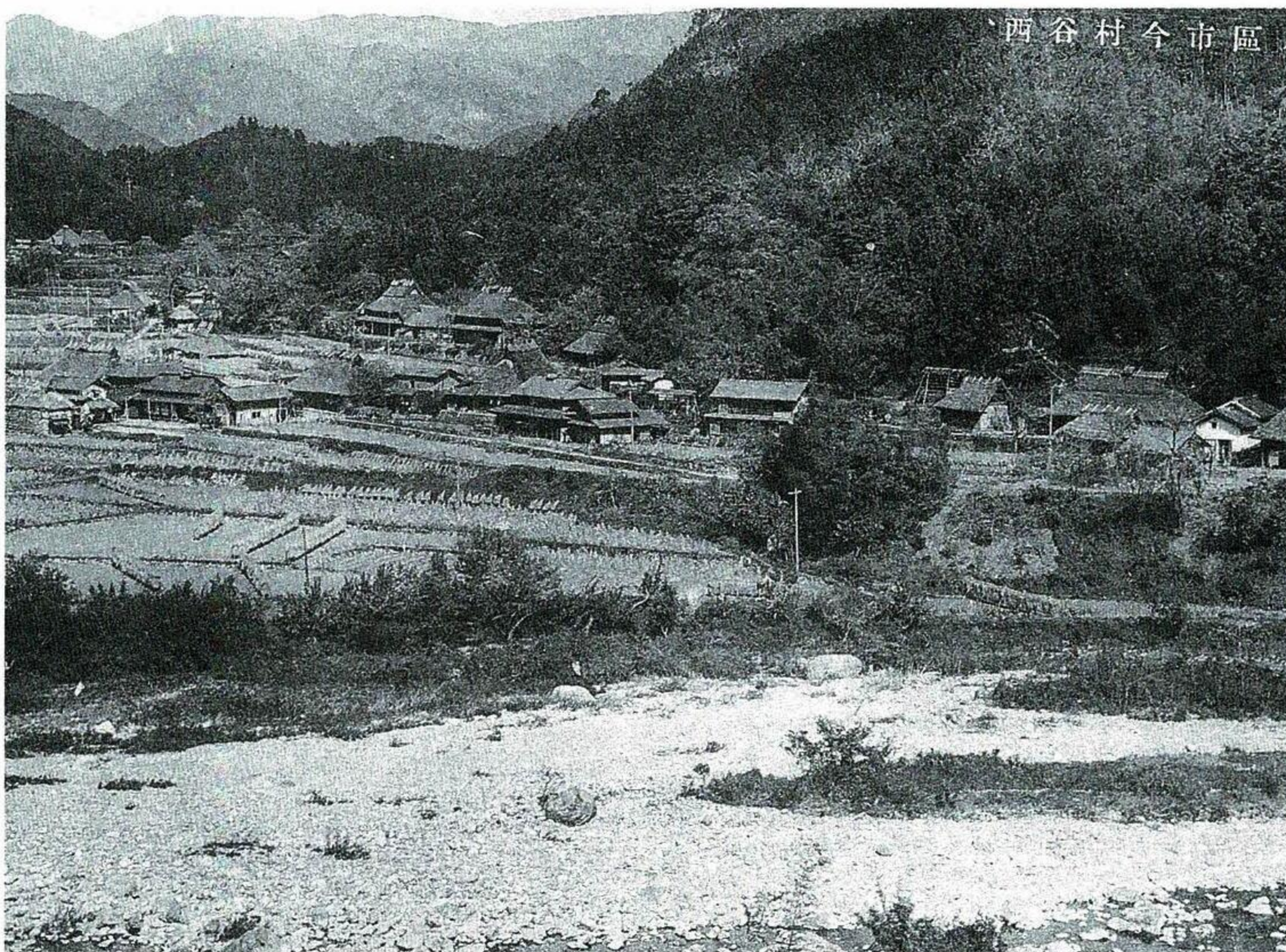
西谷村谷區北部ノ影

西谷村谷北部（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村小野區ノ影

西谷村小野（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



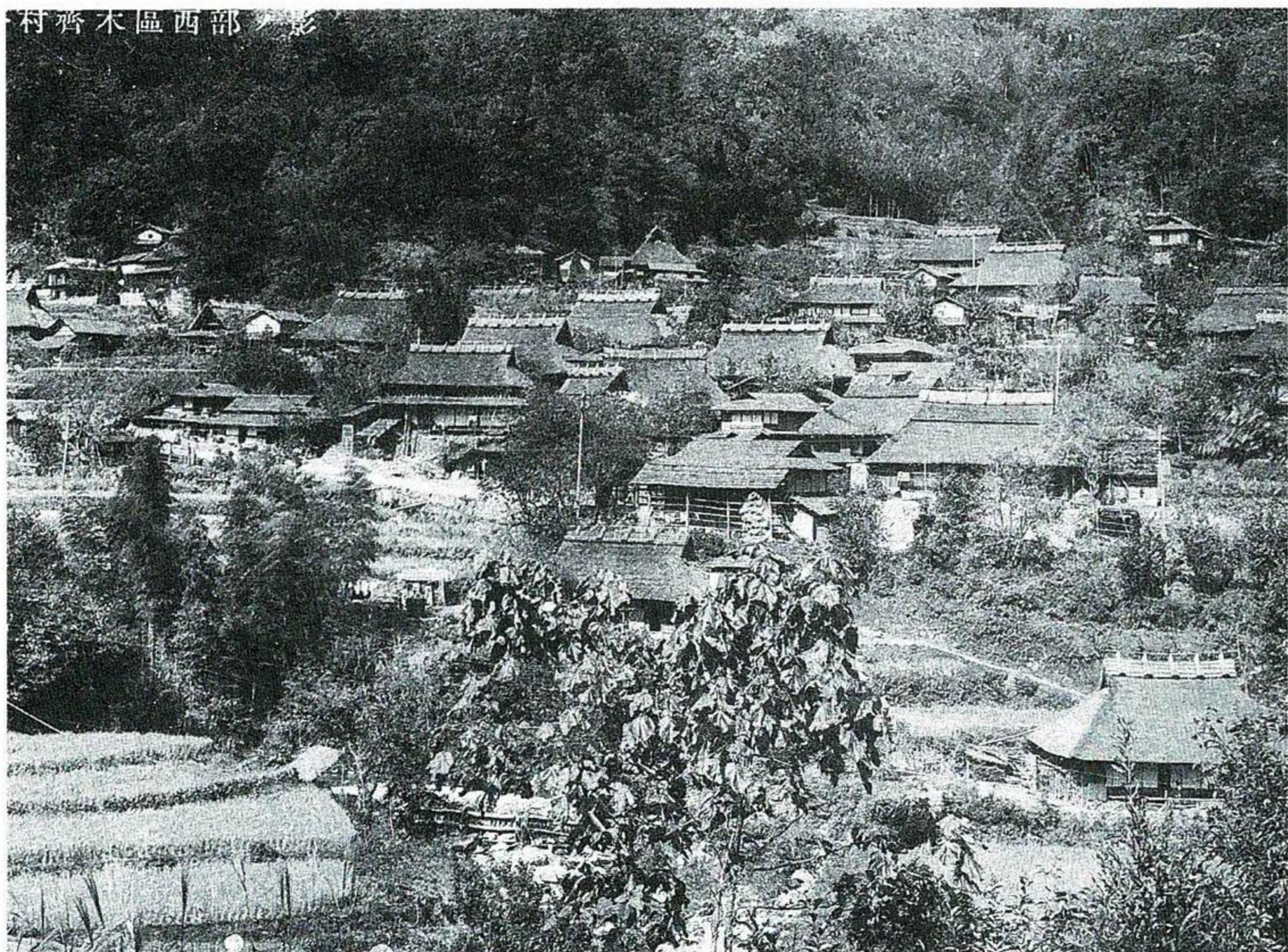
西谷村今市（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村安賀（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村齊木東部（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村齊木西部（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



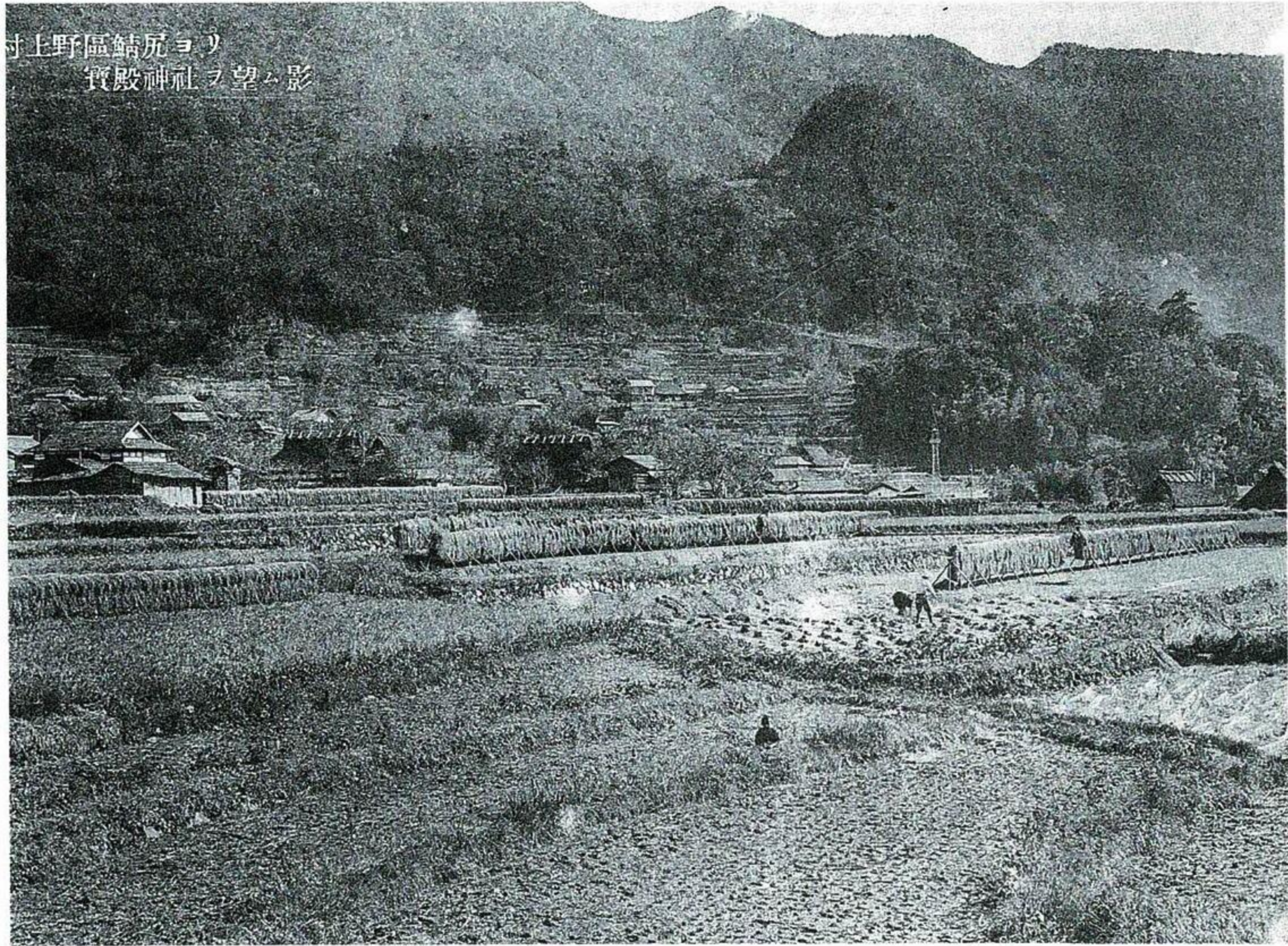
影ノ區賀有村谷

西谷村有賀（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）

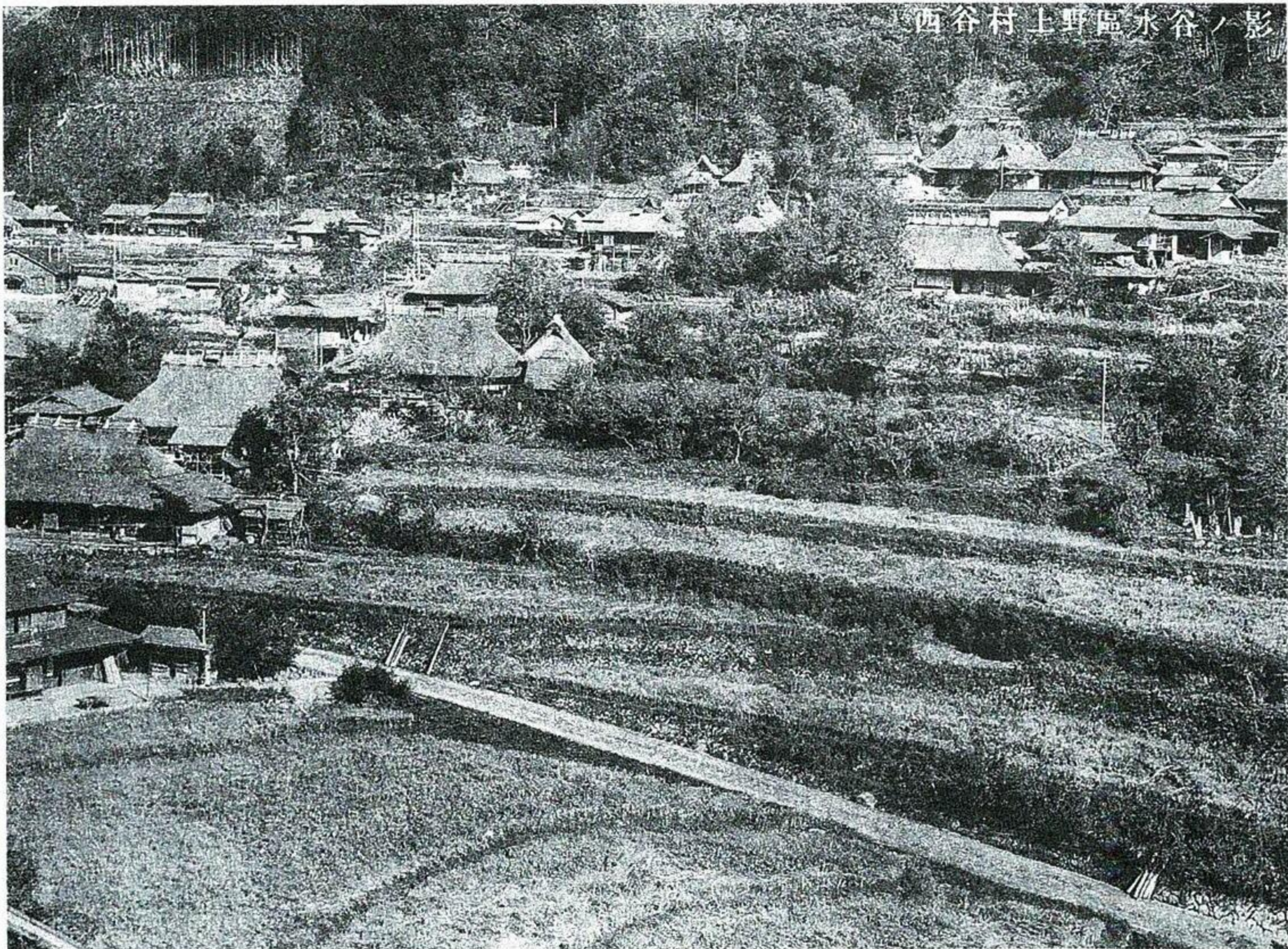


西谷村上野區国道筋

西谷村上野国道筋（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村上野鯖尻より寶殿神社を望む（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村水谷（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



西谷村皆木（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）



郷社八幡神社祭礼（皇軍慰問故郷の面影より 昭和18年頃撮影 西谷村銃後後援会発行）
（河野トミエ・中岸幸大氏 提供）

発行によせて

下川 洋一

この度は、記念すべき取材記録集総集編発行おめでとうございます。わたしとメイプル大学院との出会いは、派遣社会教育主事として教育委員会にお世話になっていた今から十数年前にさかのぼります。

前任の黒田先生からバトンタッチをしました。その後運営委員さん方に全面的にお世話になりながら、どうにか講座を開くことが出来ました。そうするうちに熱心に受講され、規定単位を満たし、めでたく卒業を迎えられる受講者が何名か出てこられました。みなさんの旺盛な向学心を何とか継続できないものか。いっそ大学院を立ち上げてはどうか。卒業生のみなさんにお計りしたところ「願ってもないこと。是非とも受講したい。」との返事でした。しかしながら、初めての事業。大成運営委員長さんをはじめ、運営委員さんに度々お寄りいただき、大学院運営について、協議いただきました。これまでの講義・講話中心の講座から、いままで学んでこられたことを生かし、自分たちでテーマを決め、調査・研究してそれをまとめるという自主的な講座を中心とすることになりました。

ここに、メイプル大学院の誕生です。

「本当にこれでいけるだろうか。」という事務局の心配をよそに、受講生のみなさんは、思い思いのテーマのもと、本当に一生懸命研究され、資料も用意されましたが、いざ、まとめるとなると一筋縄ではいきません。浅田耕三先生にご無理をお願いし、熱心にご指導いただきました。

おかげで、第一集発行にこぎつけることができました。第一集発行時の感激は、今でも忘れることが出来ません。

最後に、関係各位のご尽力に敬意を表しますとともに、ますますのメイプル大学院ご隆盛を、そして受講生のみなさまのご多幸をご祈念申し上げます。祝いの粗文といたします。

総集編の発行によせて

藤井 司郎

取材記録集「掘り起こそうわがふるさと」が第十集となり、この度総集編が発行されますこと、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私が派遣社会教育主事として波賀町にお世話になったのは、平成七年のことでした。メイプル大学院の皆様との出会いもここからでした。当時は第二集の発行が最大のテーマでした。それに向けて講座を組み、原稿の題材を考えていただきましたが、私は何もかもが初めてで、戸惑うばかり。大学院の皆様にはご迷惑をかけるばかりでしたが、とても優しく支えてくださり、また、浅田先生にも十分なご指導をいただいたので、何とか発行することができました。

それから、平成十一年までの五年間、第二集から第六集までの発行に携わらせていただきました。何分私は農家のことは全く分からず、波賀町のこともよく分からなかったのですが、皆様は「知恵袋」で、人生の先輩として古きよき時代のお話を聞かせていただきました。現在、波賀小学校で教鞭を執っておりますが、子どもたちに話をするときには大変役に立っております。実は、当時の中原教育長さんと、十集ぐらいいなれば総集編ができればいいなと話をさせていだいていたのです。それが現実となり、とても嬉しく思います。私が担当させていただいていた時には、ホームドクターの堀本先生、果実酒作りの壺阪先生によく来ていただきましたね。町外研修にもでかけました。私の友人が経営する醤油工場へ出かけたのも、つい昨日のように思い出されます。どの講座においても皆様方の学ぼうとされる姿勢に頭が下がりました。これからも体につけて、頑張ってください。次の総集編も楽しみにしております。

